

2023年奈良市結婚と出産に関する意識調査

報告書

令和5年11月

奈良市

《目次》

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
(1)調査対象	1
(2)調査項目	1
(3)調査方法	1
(4)調査期間	1
(5)回答数	1
II. 結婚されている方への調査	3
1. 属性	3
(1)夫婦の年齢	3
(2)夫婦の年収	4
(3)夫婦の就業状況	5
①妻の就業状況	5
②夫の就業状況	6
③現在仕事をしていない妻の就業の希望	7
2. 子育て	9
(1)子どもの数	9
①理想の子どもの数と予定する子どもの数	9
②理想的な子どもの数が1人以上の理由	10
③実際にもつつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由	11
(2)出産後の就業	13
(3)祖父母の子育て支援	14
(4)夫の家事・育児	15
(5)子育て支援制度・施設の利用	16
3. 結婚観	17
(1)夫婦の出会ったきっかけ	17
(2)結婚のきっかけ	19
(3)結婚・子育てに関する意識(既婚者)	21
(4)子どもとのふれあい経験と周囲の結婚への評価	22
III. 独身の方への調査	23
1. 属性	23
(1)男女比	23
(2)年齢構成	24
(3)在学・卒業の別	25
(4)在学中または最後に卒業した学校	26
(5)就労の有無	27
①女性	27
②男性	28
(6)現在収入のある仕事をしている人の年齢	29

(7)1日の平均的な労働時間	30
(8)1週間の平均的な労働日数	31
(9)仕事の勤続年数	32
(10)昨年の年収(税込み)	33
2. 結婚観	35
(1)結婚することの利点	35
①結婚することの利点の有無	35
②結婚することの具体的な利点	36
(2)独身生活の利点	38
①独身生活の利点の有無	38
②独身生活の具体的な利点	39
(3)結婚・出産・仕事をめぐる女性のライフコース	41
①女性の理想のライフコース	41
②女性の予想のライフケース	42
③男性がパートナーに望むライフコース	42
(4)結婚、子育てに関する意識(独身者)	43
(5)結婚相手に求める条件	44
(6)異性との交際状況	46
①異性との交際状況	46
②異性との交際の希望	47
③交際相手との結婚の希望	48
④異性の交際相手と知り合ったきっかけ	49
(7)独身者の結婚意欲	51
①結婚の意志	51
②結婚時期の決め手	52
③「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性	53
④「いずれ結婚するつもり」に変わるとする場合の理由	54
(8)希望の子ども数と子どもをもつ理由	56
①希望する子どもの数	56
②最初の子どものがほしい年齢	57
③1人以上の子どもをほしいと考える理由	58
(9)独身でいる理由	60
(10)結婚の障害	62
①障害の有無	62
②結婚の障害となる最大の理由	63
(11)子どもとのふれあい経験・周囲の結婚への評価	64

I.調査の概要

1. 調査の目的

奈良市の少子化対策としての取組を進めていくにあたり、本市における結婚、出産、子育ての現状と課題を必要な支援、取組を検討するための基礎資料を得ることを目的に実施した。

2. 調査の概要

(1)調査対象

- 結婚されている方への調査:結婚している55歳未満の女性の方
- 独身の方への調査:18歳以上55歳未満の独身の男女

(2)調査項目

全国調査の結果と比較ができるよう出生動向調査の調査票を参考に作成。調査を実施するにあたっては、の専門有識者に相談した。

(3)調査方法

- ①奈良市の公式ライン、子育て@ならで配信し、Webで回答
- ②調査につながるQRコードを付した案内文を配布し、Webで回答

(4)調査期間

令和5年8月1日(火)～8月15日(火)

(5)回答数

チラシ配布枚数 6147枚

回答1238件 回答率20%

(内訳)結婚されている方への調査票988件、独身の方への調査票250件

Ⅱ. 結婚されている方への調査

1. 属性

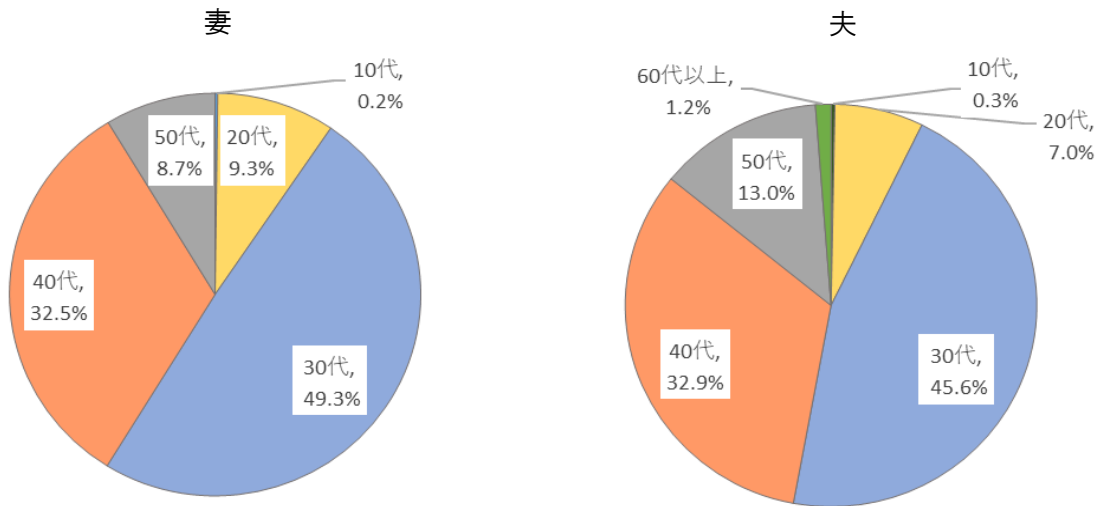
(1) 夫婦の年齢

回答者の妻の年齢は、30代が49.3%で最も多く、次いで40代が32.5%で合わせると回答者の8割を占める。20代と50代がそれぞれ約1割である。

夫の年齢は、30代が45.6%、次いで40代が32.9%で全体の7割強である。次いで50代が13%、20代が7%となっている。

妻よりも夫の年齢層が高めである。

夫婦の年齢



妻

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	計
回答数	2	92	487	321	86	988
	0.2%	9.3%	49.3%	32.5%	8.7%	

夫

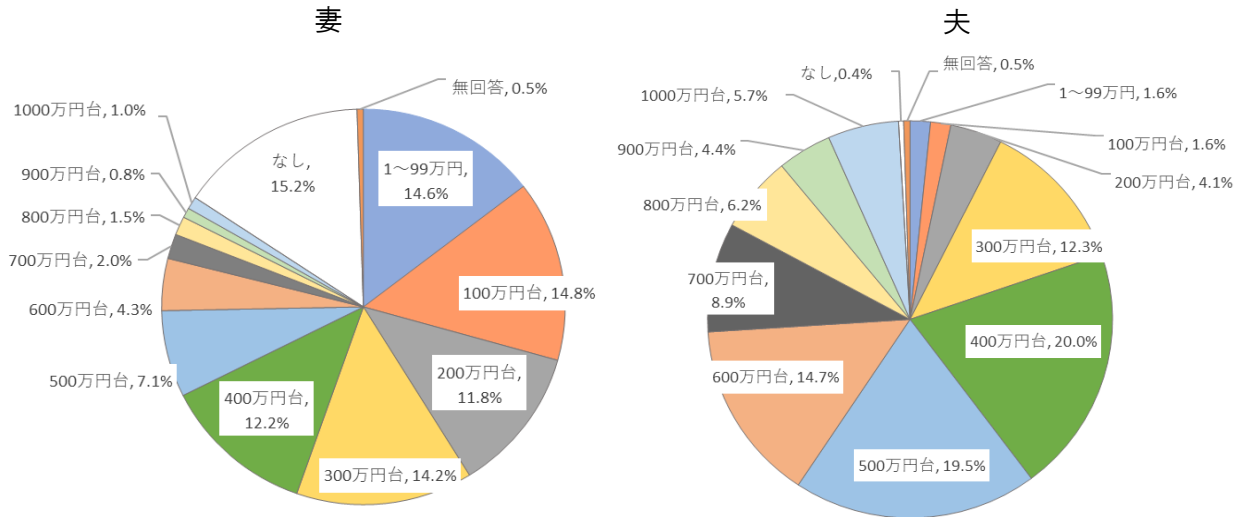
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
回答数	3	69	451	325	128	12	988
	0.3%	7.0%	45.6%	32.9%	13.0%	1.2%	

(2)夫婦の年収

妻の収入は、「なし」の15.2%が一番多い。「1～99万円」、「100万円台」、「200万円台」、「300万円台」、「400万円台」が10%～15%の間で同じような割合である。

夫の収入は、「400万円台」が20.0%で一番多く、「500万円台」19.5%、「600万円台」14.7%と続く。「なし」、「1～99万円」、「100万円台」は1%前後である。

夫婦の収入



妻

収入	1～99万円	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1000万円台	なし	無回答	計
全体	144 14.6%	146 14.8%	117 11.8%	140 14.2%	121 12.2%	70 7.1%	42 4.3%	20 2.0%	15 1.5%	8 0.8%	10 1.0%	150 15.2%	5 0.5%	988
10代												1 50.0%	1 50%	2
20代	13 14.1%	7 7.6%	15 16.3%	18 19.6%	18 19.6%	7 7.6%				1 1.1%		11 12.0%	2 2.2%	92
30代	55 11.3%	72 14.8%	65 13.3%	80 16.4%	66 13.6%	35 7.2%	15 3.1%	6 1.2%	3 0.6%	2 0.4%	3 0.6%	85 17.5%		487
40代	52 16.2%	54 16.8%	32 10.0%	36 11.2%	36 11.2%	25 7.8%	21 6.5%	8 2.5%	7 2.2%	4 1.2%	4 1.2%	41 12.8%	1 0.3%	321
50代	24 27.9%	13 15.1%	5 5.8%	6 7.0%	1 1.2%	3 3.5%	6 7.0%	6 7.0%	5 5.8%	1 1.2%	3 3.5%	12 14.0%	1 1.2%	86

夫

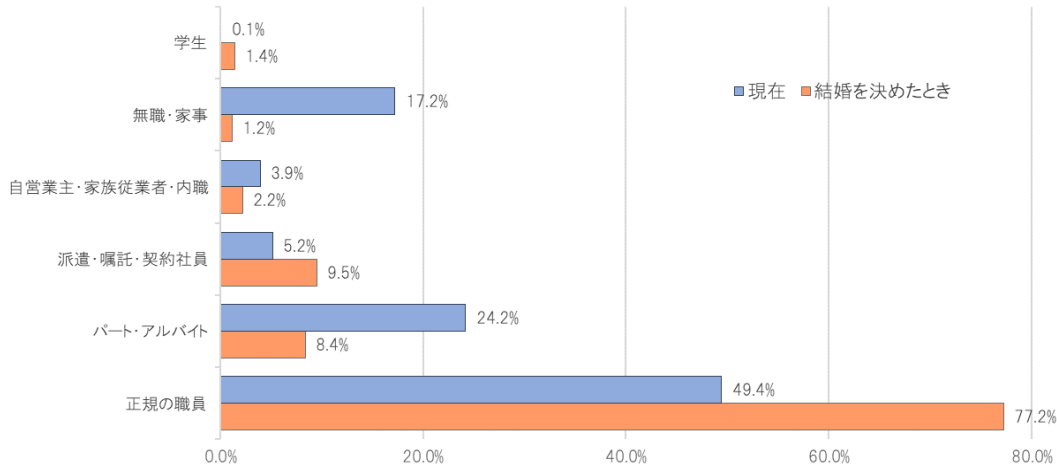
	1～99万円	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1000万円台	なし	無回答	計
全体	16 1.6%	16 1.6%	41 4.1%	122 12.3%	198 20.0%	193 19.5%	145 14.7%	88 8.9%	61 6.2%	43 4.4%	56 5.7%	4 0.4%	5 0.5%	988
10代			1 33.3%										2 66.7%	3
20代		3 4.3%	7 10.1%	18 26.1%	29 42.0%	6 8.7%	3 4.3%	2 2.9%					1 1.4%	69
30代	6 1.3%	6 1.3%	19 4.2%	57 12.6%	104 23.1%	108 23.9%	68 15.1%	33 7.3%	25 5.5%	16 3.5%	9 2.0%			451
40代	6 1.8%	5 1.5%	10 3.1%	35 10.8%	48 14.8%	68 20.9%	55 16.9%	37 11.4%	21 6.5%	16 4.9%	21 6.5%	2 0.6%	1 0.3%	325
50代	4 3.1%		4 3.1%	9 7.0%	15 11.7%	10 7.8%	18 14.1%	15 11.7%	15 11.7%	11 8.6%	25 19.5%	2 1.6%		128
60代		2 16.7%		3 25.0%	2 16.7%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%			1 8.3%		1 8.3%	12

(3) 夫婦の就業状況

① 妻の就業状況

「正規の職員」が、結婚を決めたときは77.2%であるが、現在は49.4%と27.8ポイント減っている。逆に、「パート・アルバイト」は、結婚を決めたとき8.4%であるが、現在24.7%と約3倍になっている。また、「無職・家事」については、結婚を決めたとき1.2%が、現在17.2%と16ポイント増で約15倍である。

妻のそれぞれの時期の就業状況



結婚を決めたとき

	正規の職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業者・内職	無職・家事	学生	計
全体	763 77.2%	83 8.4%	94 9.5%	22 2.2%	12 1.2%	14 1.4%	988
10代	1 50.0%			1 50.0%			2
20代	72 78.3%	12 13.0%	6 6.5%		1 1.1%	1 1.1%	92
30代	385 79.1%	37 7.6%	42 8.6%	12 2.5%	4 0.8%	7 1.4%	487
40代	237 73.8%	26 8.1%	41 12.8%	6 1.9%	6 1.9%	5 1.6%	321
50代	69 80.2%	7 8.1%	5 5.8%	3 3.5%	1 1.2%	1 1.2%	86

現在

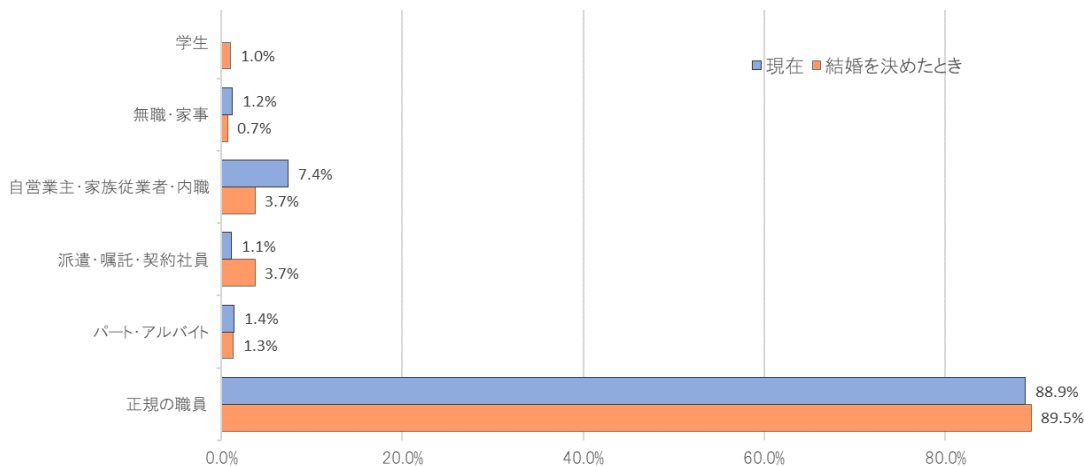
	正規の職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業者・内職	無職・家事	学生	計
全体	488 49.4%	239 24.2%	51 5.2%	39 3.9%	170 17.2%	1 0.1%	988
10代	1 50.0%			1 50.0%			2
20代	51 55.4%	15 16.3%	3 3.3%	1 1.1%	22 23.9%		92
30代	272 55.9%	87 17.9%	23 4.7%	21 4.3%	83 17.0%	1 0.2%	487
40代	137 42.7%	106 33.0%	17 5.3%	15 4.7%	46 14.3%		321
50代	27 31.4%	31 36.0%	8 9.3%	1 1.2%	19 22.1%		86

②夫の就業状況

「正規の職員」の割合が、結婚を決めたとき89.5%、現在88.9%とどちらも約9割を占めており、大きな変化はない。「自営業主・家族従業者・内職」の割合は結婚を決めたとき3.7%から現在7.4%と3.7ポイント増の2倍になっている。

逆に、「派遣・嘱託・契約社員」の割合は、結婚を決めたとき3.7%から現在1.1%と2.6ポイント減の3分の1となっている。

夫のそれぞれの時期の就業状況



結婚を決めたとき

	正規の職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業者・内職	無職・家事	学生	計
全体	884 89.5%	13 1.3%	37 3.7%	37 3.7%	7 0.7%	10 1.0%	988
10代	2 66.7%				1 33.3%		3
20代	61 88.4%	2 2.9%	2 2.9%	2 2.9%	1 1.4%	1 1.4%	69
30代	409 90.7%	4 0.9%	14 3.1%	14 3.1%	2 0.4%	8 1.8%	451
40代	285 87.7%	4 1.2%	18 5.5%	14 4.3%	3 0.9%	1 0.3%	325
50代	117 91.4%	2 1.6%	3 2.3%	6 4.7%			128
60代	10 83.3%	1 8.3%		1 8.3%			12

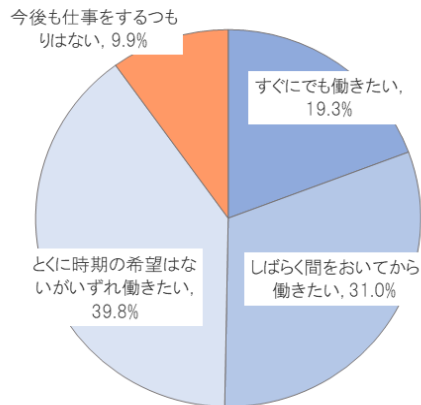
現在

	正規の職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業者・内職	無職・家事	学生	計
全体	878 88.9%	14 1.4%	11 1.1%	73 7.4%	12 1.2%		988
10代	2 66.7%	1 33.3%					3
20代	61 88.4%	3 4.3%	1 1.4%	4 5.8%			69
30代	403 89.4%	4 0.9%	5 1.1%	33 7.3%	6 1.3%		451
40代	291 89.5%	3 0.9%	5 1.5%	23 7.1%	3 0.9%		325
50代	113 88.3%			13 10.2%	2 1.6%		128
60代	8 66.7%	3 25.0%			1 8.3%		12

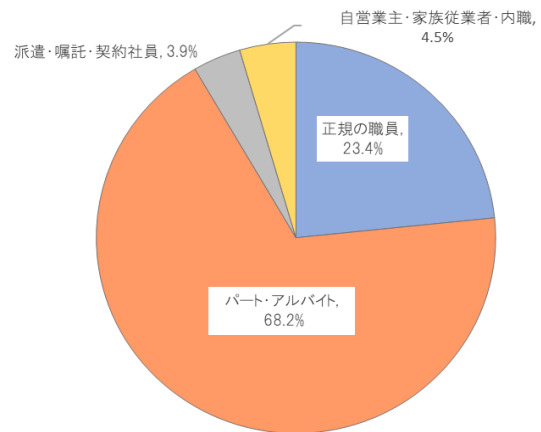
③現在仕事をしていない妻の就業の希望

現在、仕事をしていない妻の約9割が働きたいと希望している。
 就業を希望する妻の希望する働き方は、「パート・アルバイト」が68.2%と最も多く、次に多い「正規の職員」23.4%の約3倍である。

現在仕事をしていない妻の就業希望



希望する働き方



就業の希望

	すぐにも働きたい	しばらく間をおいてから働きたい	とくに時期の希望はないがいずれ働きたい	今後も仕事をするつもりはない	計
全体	33 19.3%	53 31.0%	68 39.8%	17 9.9%	171

希望する働き方

	正規の職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業者・内職	計
全体	36 23.4%	105 68.2%	6 3.9%	7 4.5%	154

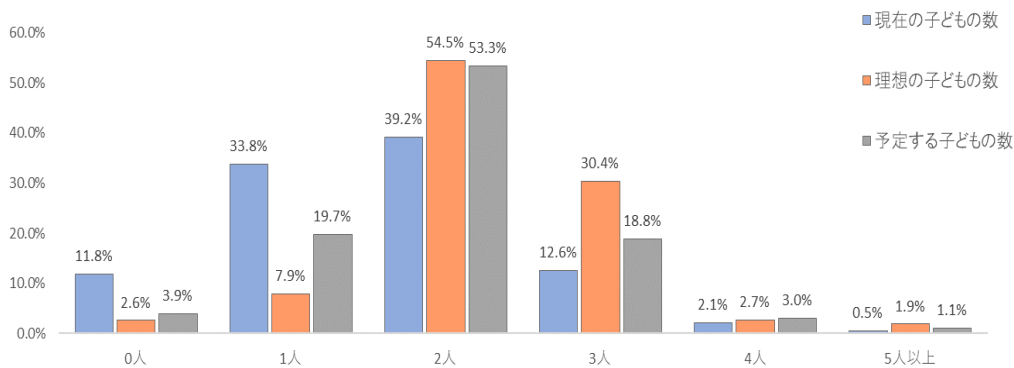
2. 子育て

(1)子どもの数

①理想の子どもの数と予定する子どもの数

理想の子どもの数は、「2人」の54.5%が最も多く、次いで「3人」30.4%、「1人」7.9%である。
 予定する子どもの数は、「2人」の53.3%が最も多く、次いで、「1人」19.7%、「3人」18.8%であった。

現在の子どもの数・理想の子どもの数・予定する子どもの数



現在の子どもの数(妻の年齢別)

	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	計
全体	117 11.8%	334 33.8%	387 39.2%	124 12.6%	21 2.1%	5 0.5%	988
10代			1 50.0%			1 50.0%	2
20代	32 34.8%	36 39.1%	17 18.5%	7 7.6%			92
30代	52 10.7%	186 38.2%	190 39.0%	47 9.7%	10 2.1%	2 0.4%	487
40代	21 6.5%	91 28.3%	141 43.9%	58 18.1%	9 2.8%	1 0.3%	321
50代	12 14.0%	21 24.4%	38 44.2%	12 14.0%	2 2.3%	1 1.2%	86

理想の子どもの数(妻の年齢別)

	いない	1人	2人	3人	4人	5人以上	計
全体	26 2.6%	78 7.9%	538 54.5%	300 30.4%	27 2.7%	19 1.9%	988
10代						2 100%	2
20代	2 2.2%	5 5.4%	45 48.9%	36 39.1%	4 4.3%		92
30代	5 1.0%	38 7.8%	261 53.6%	158 32.4%	15 3.1%	10 2.1%	487
40代	13 4.0%	29 9.0%	180 56.1%	87 27.1%	6 1.9%	6 1.9%	321
50代	6 7.0%	6 7.0%	52 60.5%	19 22.1%	2 2.3%	1 1.2%	86

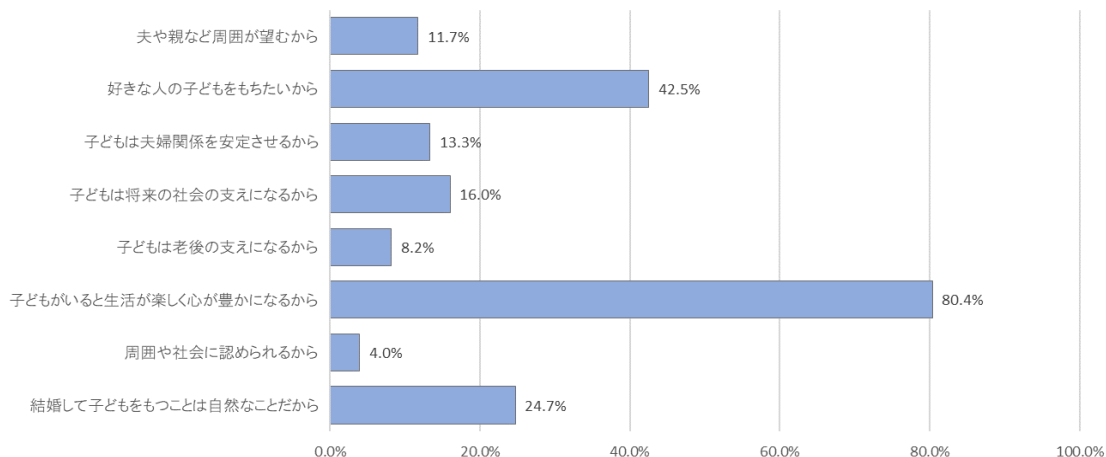
予定する子どもの数(妻の年齢別)

	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	計
全体	39 3.9%	195 19.7%	527 53.3%	186 18.8%	30 3.0%	11 1.1%	988
10代			1 50.0%			1 50.0%	2
20代	3 3.3%	15 16.3%	46 50.0%	25 27.2%	3 3.3%		92
30代	7 1.4%	73 15.0%	299 61.4%	85 17.5%	16 3.3%	7 1.4%	487
40代	17 5.3%	86 26.8%	143 44.5%	64 19.9%	9 2.8%	2 0.6%	321
50代	12 14.0%	21 24.4%	38 44.2%	12 14.0%	2 2.3%	1 1.2%	86

②理想的な子どもの数が1人以上の理由

理想的な子どもの数が1人以上の理由としては、「子どもがいると生活が豊かになるから」が80.4%と突出して多い。次いで、「好きな人の子どもをもちたいから」が42.5%、「結婚して子どもをもつことは自然なことだから」が24.7%となっている。

理想的な子どもの数が1人以上の理由(複数回答)

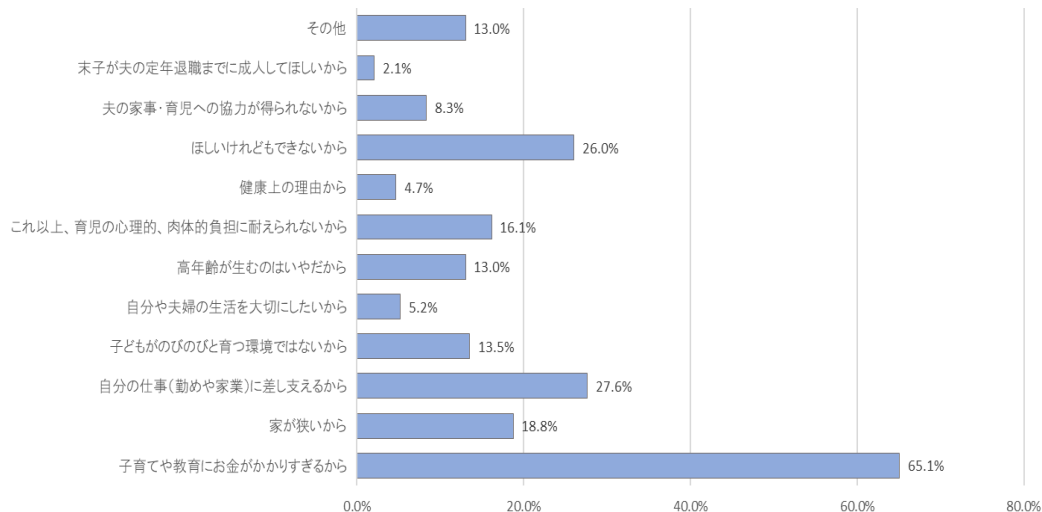


	結婚して子どもをもつことは自然なことだから	周囲や社会に認められるから	子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから	子どもは老後の支えになるから	子どもは将来の社会の支えになるから	子どもは夫婦関係を安定させるから	好きな人の子どもをもちたいから	夫や親など周囲が望むから	回答数
全体	238 24.7%	38 4.0%	773 80.4%	79 8.2%	154 16.0%	128 13.3%	409 42.5%	113 11.7%	962
10代	1 50.0%		1 50.0%					1 50.0%	2
20代	20 22.2%	5 5.6%	70 77.8%	5 5.6%	7 7.8%	7 7.8%	46 51.1%	13 14.4%	90
30代	95 19.7%	20 4.1%	402 83.4%	47 9.8%	89 18.5%	71 14.7%	232 48.1%	62 12.9%	482
40代	86 27.9%	12 3.9%	239 77.6%	22 7.1%	42 13.6%	33 10.7%	115 37.3%	34 11.0%	308
50代	36 45.0%	1 1.3%	61 76.3%	5 6.3%	16 20.0%	17 21.3%	16 20.0%	3 3.8%	80

③実際にもつつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数よりも少ない理由

実際にもつつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数よりも少ない理由については、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多い。次に「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」が27.6%、「ほしいけれどもできないから」が26.0%である。

実際にもつつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数よりも少ない理由(複数回答)



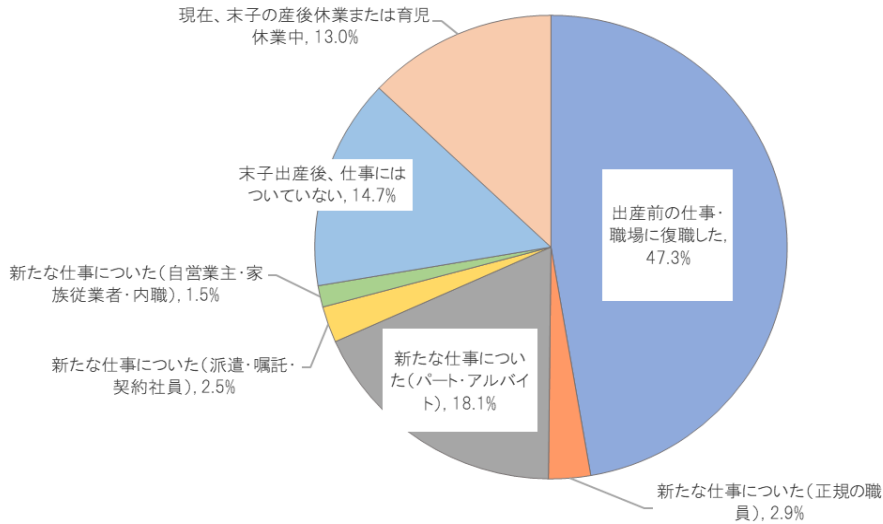
	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	家が狭いから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	子どもがのびのびと育つ環境ではないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	高年齢が生むのはいやだから	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	健康上の理由から	ほしいけれどもできないから	夫の家事・育児への協力が得られないから	末子が夫の定年退職までに成人してほしいから	その他	回答数
全体	125 65.1%	36 18.8%	53 27.6%	26 13.5%	10 5.2%	25 13.0%	31 16.1%	9 4.7%	50 26.0%	16 8.3%	4 2.1%	25 13.0%	192
10代	1 100.0%										1 100.0%		1
20代	36 80.0%	11 24.4%	12 26.7%	7 15.6%	3 6.7%	1 2.2%	4 8.9%	1 2.2%	5 11.1%	4 8.9%		4 8.9%	45
30代	80 62.5%	24 18.8%	38 29.7%	19 14.8%	7 5.5%	17 13.3%	23 18.0%	7 5.5%	37 28.9%	11 8.6%	3 2.3%	15 11.7%	128
40代	8 44.4%	1 5.6%	3 16.7%			7 38.9%	4 22.2%	1 5.6%	8 44.4%	1 5.6%		6 33.3%	18
50代													

(2) 出産後の就業

出産後の就業状況については、「出産前の仕事・職場に復帰した」が47.3%が最も多く、30代、40代は5割の人が復帰している。

新たに仕事についてと回答した人は、「正規の職員」2.9%よりも、「パート・アルバイト」18.1%が多く、約6倍である。

出産後の就業状況

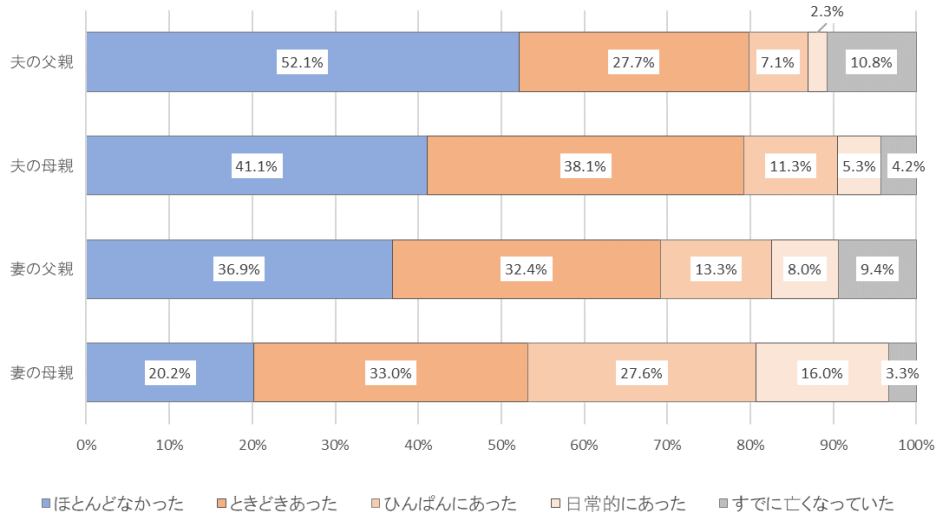


	出産前の仕事・職場に復帰した	新たな仕事について(正規の職員)	新たな仕事について(パート・アルバイト)	新たな仕事について(派遣・嘱託・契約社員)	新たな仕事について(自営業主・家族従業者・内職)	末子出産後、仕事にはついていない	現在、末子の産後休業または育児休業中	計
全体	412 47.3%	25 2.9%	158 18.1%	22 2.5%	13 1.5%	128 14.7%	113 13.0%	871
10代						1 50.0%	1 50.0%	2
20代	13 21.7%	1 1.7%	6 10.0%			13 21.7%	27 45.0%	60
30代	218 50.1%	12 2.8%	48 11.0%	8 1.8%	5 1.1%	70 16.1%	74 17.0%	435
40代	152 50.7%	10 3.3%	76 25.3%	7 2.3%	8 2.7%	36 12.0%	11 3.7%	300
50代	29 39.2%	2 2.7%	28 37.8%	7 9.5%		8 10.8%		74

(3) 祖父母の子育て支援

子どもが3歳になるまでの間について、祖父母の手助けがあったかについては、妻の母親の手助けが最も多い。支援の多かった順は、妻の母(76.7%)、夫の母(54.7%)、妻の父(53.7%)、夫の父(37.1%)である。

周りの支援の有無



妻の母親

	ほとんどなかった	ときどきあった	ひんぱんにあった	日常的にあった	すでに亡くなっていた	計
全体	176 20.2%	287 33.0%	240 27.6%	139 16.0%	29 3.3%	871
10代	1 50.0%		1 50.0%			2
20代	3 5.0%	16 26.7%	22 36.7%	18 30.0%	1 1.7%	60
30代	81 18.6%	153 35.2%	123 28.3%	65 14.9%	13 3.0%	435
40代	74 24.7%	99 33.0%	73 24.3%	42 14.0%	12 4.0%	300
50代	17 23.0%	19 25.7%	21 28.4%	14 18.9%	3 4.1%	74

妻の父親

	ほとんどなかった	ときどきあった	ひんぱんにあった	日常的にあった	すでに亡くなっていた	計
全体	321 36.9%	282 32.4%	116 13.3%	70 8.0%	82 9.4%	871
10代			2 100.0%			2
20代	19 31.7%	21 35.0%	10 16.7%	7 11.7%	3 5.0%	60
30代	159 36.6%	147 33.8%	59 13.6%	31 7.1%	39 9.0%	435
40代	118 39.3%	91 30.3%	35 11.7%	25 8.3%	31 10.3%	300
50代	25 33.8%	23 31.1%	10 13.5%	7 9.5%	9 12.2%	74

夫の母親

	ほとんどなかった	ときどきあった	ひんぱんにあった	日常的にあった	すでに亡くなっていた	計
全体	358 41.1%	332 38.1%	98 11.3%	46 5.3%	37 4.2%	871
10代	1 50.0%		1 50.0%			2
20代	22 36.7%	25 41.7%	6 10.0%	5 8.3%	2 3.3%	60
30代	155 35.6%	196 45.1%	51 11.7%	18 4.1%	15 3.4%	435
40代	144 48.0%	92 30.7%	30 10.0%	17 5.7%	17 5.7%	300
50代	36 48.6%	19 25.7%	10 13.5%	6 8.1%	3 4.1%	74

夫の父親

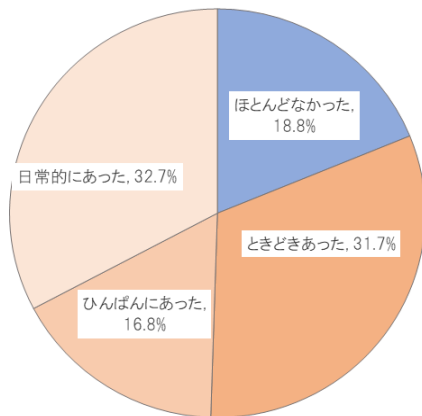
	ほとんどなかった	ときどきあった	ひんぱんにあった	日常的にあった	すでに亡くなっていた	計
全体	454 52.1%	241 27.7%	62 7.1%	20 2.3%	94 10.8%	871
10代	1 50.0%	1 50.0%				2
20代	31 51.7%	14 23.3%	5 8.3%	2 3.3%	8 13.3%	60
30代	213 49.0%	150 34.5%	29 6.7%	8 1.8%	35 8.0%	435
40代	171 57.0%	61 20.3%	18 6.0%	6 2.0%	44 14.7%	300
50代	38 51.4%	15 20.3%	10 13.5%	4 5.4%	7 9.5%	74

(4)夫の家事・育児

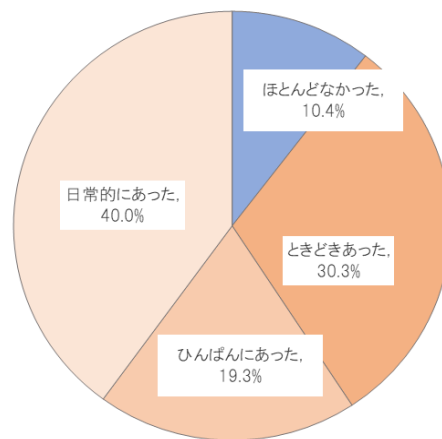
子どもが3歳になるまでの間の夫の家事について、「ときどきあった」「ひんぱんにあった」「日常的にあった」の合計割合は81.2%と高く、特に20代、30代の夫婦では9割に近い割合である。

育児については、家事よりもその割合が高い傾向にあり、全体で89.6%の夫が育児に関わっている。特に、20代で91.7%、30代で94.1%と9割を超えている。

夫の家事の頻度



夫の育児の頻度



家事の頻度

	ほとんどなかった	ときどきあった	ひんぱんにあった	日常的にあった	計
全体	164 18.8%	276 31.7%	146 16.8%	285 32.7%	871
10代	2 100.0%				2
20代	8 13.3%	11 18.3%	13 21.7%	28 46.7%	60
30代	46 10.6%	139 32.0%	83 19.1%	167 38.4%	435
40代	75 25.0%	106 35.3%	42 14.0%	77 25.7%	300
50代	33 44.6%	20 27.0%	8 10.8%	13 17.6%	74

育児の頻度

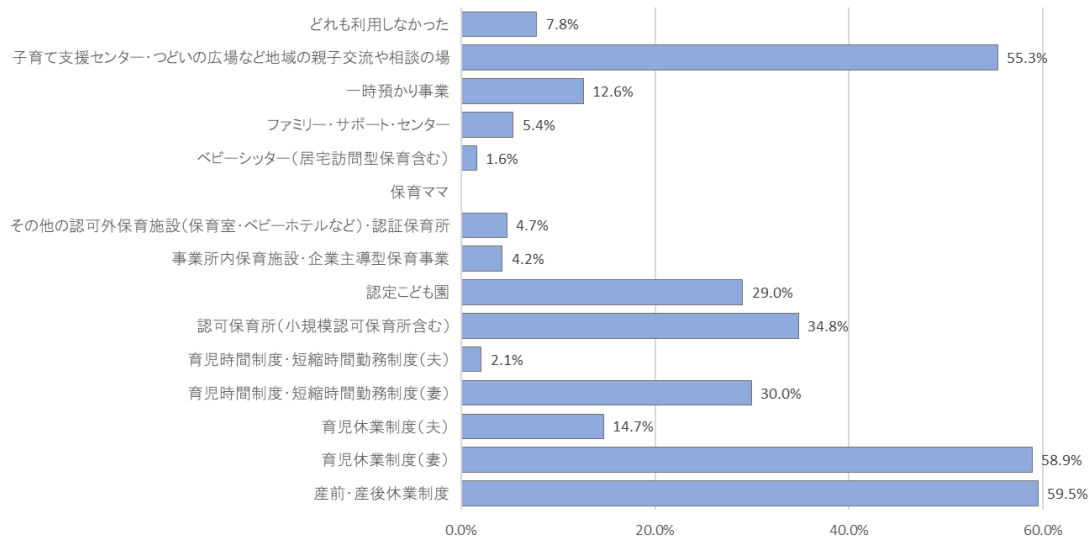
	ほとんどなかった	ときどきあった	ひんぱんにあった	日常的にあった	計
全体	91 10.4%	264 30.3%	168 19.3%	348 40.0%	871
10代	1 50.0%	1 50.0%			2
20代	5 8.3%	16 26.7%	13 21.7%	26 43.3%	60
30代	26 6.0%	106 24.4%	90 20.7%	213 49.0%	435
40代	38 12.7%	114 38.0%	55 18.3%	93 31.0%	300
50代	21 28.4%	27 36.5%	10 13.5%	16 21.6%	74

(5)子育て支援制度・施設の利用

3歳になるまでの間に利用した子育て支援制度や施設について、利用の高かったのは、「産前・産後休業制度」、「育児休業制度(妻)」、「子育て支援センター・つどいの広場など地域の親子交流や相談の場」であった。

「育児休業制度」については、妻58.9%と夫14.7%の利用割合が4倍の差がある。

育児支援の利用状況(複数回答)



	産前・産後休業制度	育児休業制度(妻)	育児休業制度(夫)	育児時間制度・短縮時間勤務制度(妻)	育児時間制度・短縮時間勤務制度(夫)	認可保育所(小規模認可保育所含む)	認定こども園	事業所内保育施設・企業主導型保育事業	その他の認可外保育施設(保育室・ベビーホテルなど)・認証保育所	保育ママ	ベビーシッター(居宅訪問型保育含む)	ファミリー・サポート・センター	一時預かり事業	子育て支援センター・つどいの広場など地域の親子交流や相談の場	どれも利用しなかった	回答数
全体	518 59.5%	513 58.9%	128 14.7%	261 30.0%	18 2.1%	303 34.8%	253 29.0%	37 4.2%	41 4.7%		14 1.6%	47 5.4%	110 12.6%	482 55.3%	68 7.8%	871
10代	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%											1 50.0%	1 50.0%	2
20代	41 68.3%	39 65.0%	14 23.3%	14 23.3%	2 3.3%	13 21.7%	16 26.7%	1 1.7%	1 1.7%		1 1.7%	1 1.7%	5 8.3%	35 58.3%	3 5.0%	60
30代	294 67.6%	290 66.7%	96 22.1%	148 34.0%	11 2.5%	153 35.2%	152 34.9%	25 5.7%	18 4.1%		6 1.4%	14 3.2%	69 15.9%	265 60.9%	18 4.1%	435
40代	153 51.0%	156 52.0%	17 5.7%	83 27.7%	4 1.3%	113 37.7%	82 27.3%	10 3.3%	19 6.3%		6 2.0%	26 8.7%	32 10.7%	157 52.3%	28 9.3%	300
50代	29 39.2%	27 36.5%		16 21.6%	1 1.4%	24 32.4%	3 4.1%	1 1.4%	3 4.1%		1 1.4%	6 8.1%	4 5.4%	24 32.4%	18 24.3%	74

3. 結婚観

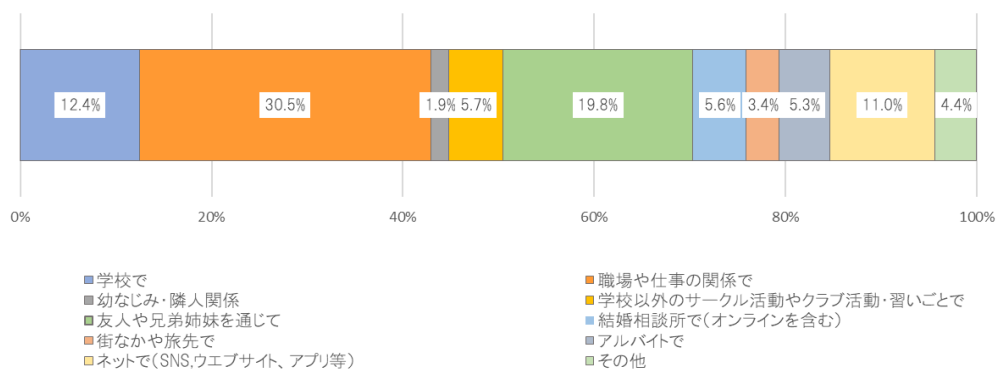
(1) 夫婦の出会ったきっかけ

夫婦が出会ったきっかけは、「職場や仕事の関係で」が最も多く30.5%である。続いて、「友人や兄弟姉妹を通じて」が19.8%、「学校で」が12.4%となっている。

また、「ネットで(SNS,ウェブサイト、アプリ等)」の出会いも11.0%と多く、「結婚相談所で(オンラインを含む)」5.3%の2倍となっている。

「その他」では、街コンや婚活イベントなど出会いを目的としたイベントの回答が多い。

夫婦の出会ったきっかけ計計



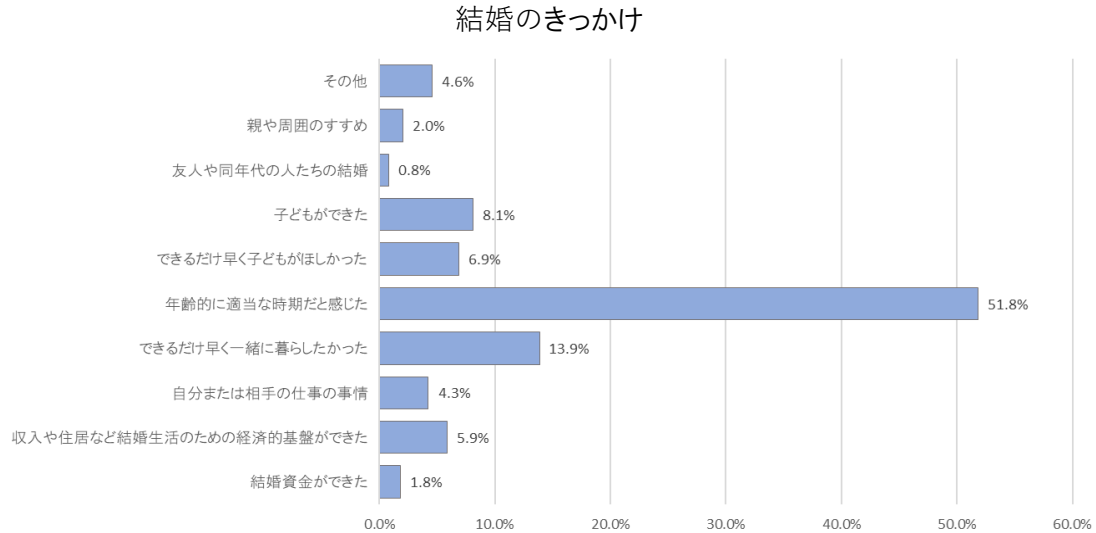
	学校で	職場や仕事の関係で	幼なじみ・隣人関係	学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごと	友人や兄弟姉妹を通じて	結婚相談所で(オンラインを含む)	街なかや旅先で	アルバイトで	ネットで(SNS,ウェブサイト、アプリ等)	その他	計
全体	123 12.4%	301 30.5%	19 1.9%	56 5.7%	196 19.8%	55 5.6%	34 3.4%	52 5.3%	109 11.0%	43 4.4%	988
10代	1 50.0%									1 50.0%	2
20代	25 27.2%	20 21.7%	2 2.2%	4 4.3%	15 16.3%	1 1.1%		11 12.0%	11 12.0%	3 3.3%	92
30代	60 12.3%	145 29.8%	13 2.7%	30 6.2%	87 17.9%	24 4.9%	16 3.3%	24 4.9%	65 13.3%	23 4.7%	487
40代	33 10.3%	97 30.2%	4 1.2%	17 5.3%	74 23.1%	26 8.1%	16 5.0%	13 4.0%	30 9.3%	11 3.4%	321
50代	4 4.7%	39 45.3%		5 5.8%	20 23.3%	4 4.7%	2 2.3%	4 4.7%	3 3.5%	5 5.8%	86

(2)結婚のきっかけ

結婚のきっかけとしては、「年齢的に適当な時期だと感じた」と回答した割合が突出して多く51.8%であった。特に、50代にあたっては59.3%と6割近い回答である。

一方、10代、20代は「子どもができた」と回答した割合が高かった。

その他の回答では、結婚したいと思える相手に出会ったことに関係するものが多かった。

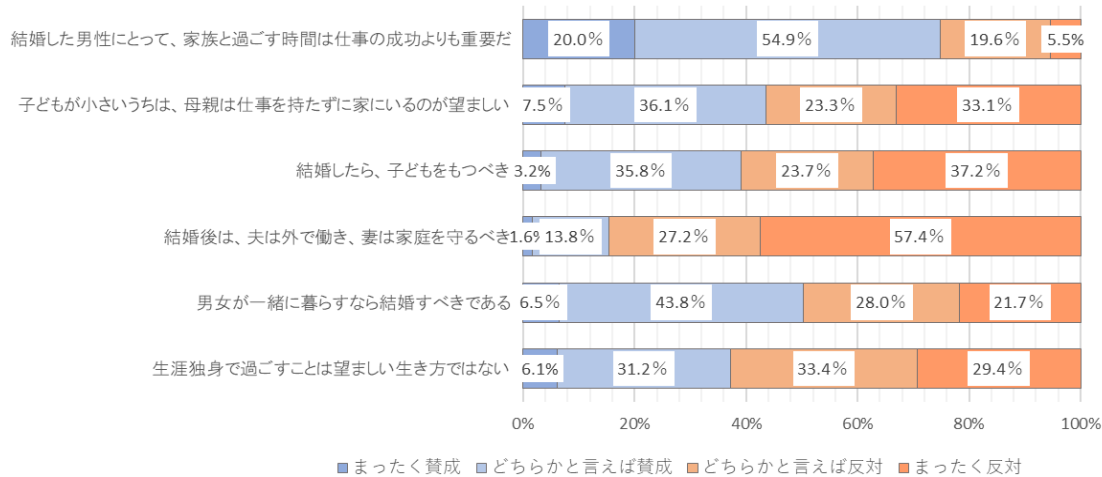


	結婚資金ができた	収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた	自分または相手の仕事の事情	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	年齢的に適当な時期だと感じた	できるだけ早く子どもがほしかった	子どもができた	友人や同年代の人たちの結婚	親や周囲のすすめ	その他	計
全体	18 1.8%	58 5.9%	42 4.3%	137 13.9%	512 51.8%	68 6.9%	80 8.1%	8 0.8%	20 2.0%	45 4.6%	988
10代	1 50.0%						1 50.0%				2
20代	2 2.2%	1 1.1%	5 5.4%	18 19.6%	34 37.0%	7 7.6%	19 20.7%		3 3.3%	3 3.3%	92
30代	8 1.6%	32 6.6%	24 4.9%	68 14.0%	261 53.6%	38 7.8%	32 6.6%	3 0.6%	4 0.8%	17 3.5%	487
40代	5 1.6%	24 7.5%	12 3.7%	44 13.7%	166 51.7%	17 5.3%	21 6.5%	4 1.2%	9 2.8%	19 5.9%	321
50代	2 2.3%	1 1.2%	1 1.2%	7 8.1%	51 59.3%	6 7.0%	7 8.1%	1 1.2%	4 4.7%	6 7.0%	86

(3)結婚・子育てに関する意識(既婚者)

結婚・子育てに関する妻の意識として、賛成が多いのは、「結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ」(賛成74.9%)。逆に、反対が多いのは、「結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」(反対84.6%)である。賛否が二分しているのは、「子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい」(賛成43.6%、反対56.4%)、「男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである」(賛成50.3%、反対49.7%)であった。

結婚・子育てに関する意識

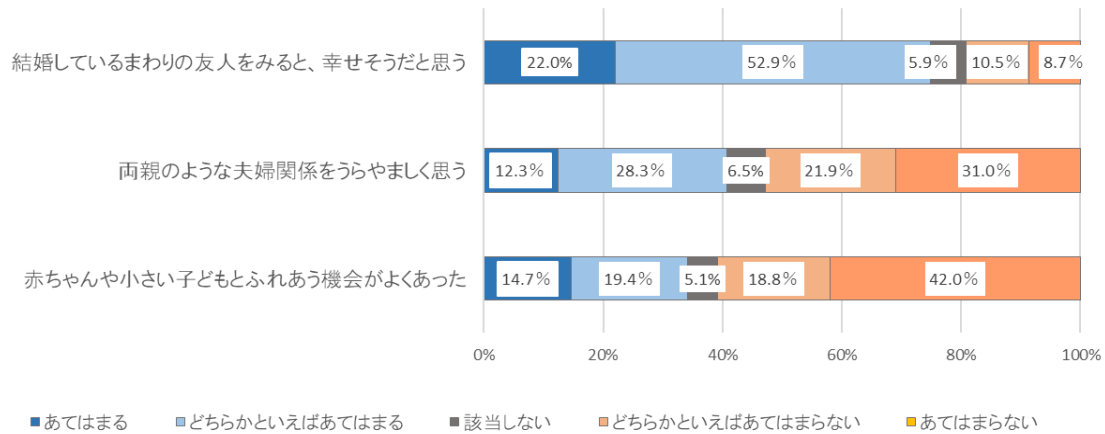


	まったく賛成	どちらかと言えば賛成	どちらかと言えば反対	まったく反対	計
生涯独身で過ごすことは望ましい生き方ではない	60 6.1%	308 31.2%	330 33.4%	290 29.4%	988
男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	64 6.5%	433 43.8%	277 28.0%	214 21.7%	988
結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべき	16 1.6%	136 13.8%	269 27.2%	567 57.4%	988
結婚したら、子どもをもつべき	32 3.2%	354 35.8%	234 23.7%	368 37.2%	988
子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい	74 7.5%	357 36.1%	230 23.3%	327 33.1%	988
結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ	198 20.0%	542 54.9%	194 19.6%	54 5.5%	988

(4)子どもとのふれあい経験と周囲の結婚への評価

結婚前までの子どもとのふれあいについて、「赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった」と回答した妻は34.1%で、機会がなかったと回答した妻60.8%の約2分の1であった。
 「結婚しているまわりの友人をみると、幸せそうだと思う」については、74.9%が肯定的な評価であるが、「両親のような夫婦関係をうらやましく思う」については、52.9%が否定的な評価である。

子どもとのふれあい経験と周囲の結婚への評価



	あてはまる	どちらかとい えばあ てはまる	どちらかとい えばあて はまらない	あてはまら ない	該当しな い	計
赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった	145 14.7%	192 19.4%	186 18.8%	415 42.0%	50 5.1%	988
両親のような夫婦関係をうらやましく思う	122 12.3%	280 28.3%	216 21.9%	306 31.0%	64 6.5%	988
結婚しているまわりの友人をみると、幸せそうだと思う	217 22.0%	523 52.9%	104 10.5%	86 8.7%	58 5.9%	988

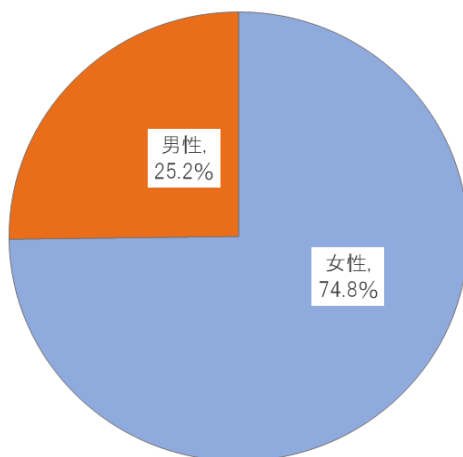
Ⅲ. 独身の方への調査

1. 属性

(1) 男女比

独身者調査の回答は、女性が74.8%、男性が25.2%であった。

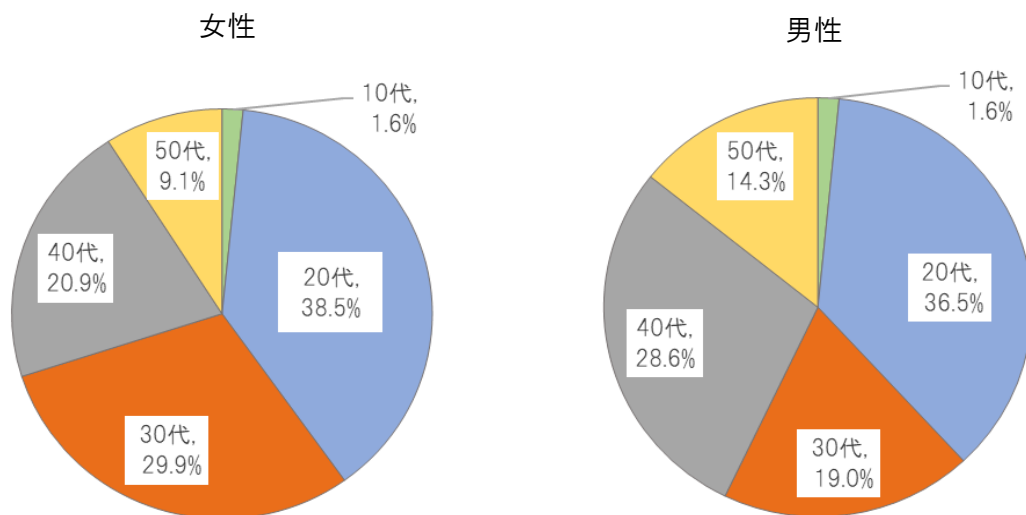
男女の構成



	女性	男性	計
回答数	187	63	250
構成比	74.8%	25.2%	

(2)年齢構成

回答者の年齢構成をみると、女性は、20代が38.5%と最も多く、続いて30代が29.9%、40代が20.9%となっている。男性は、20代が36.5%、次に40代が28.6%、30代が19.0%である。



女性

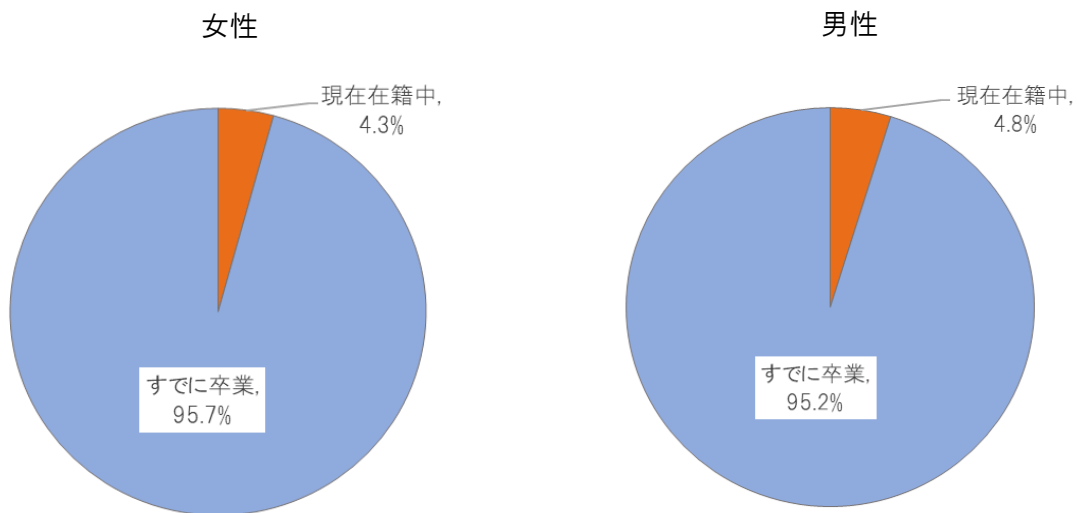
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	計
回答数	3	72	56	39	17	187
構成比	1.6%	38.5%	29.9%	20.9%	9.1%	

男性

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	計
回答数	1	23	12	18	9	63
構成比	1.6%	36.5%	19.0%	28.6%	14.3%	

(3)在学・卒業の別

回答者の在学、卒業別については、「すでに卒業」と回答したのは、女性が95.7%、男性が95.2%であった。



女性

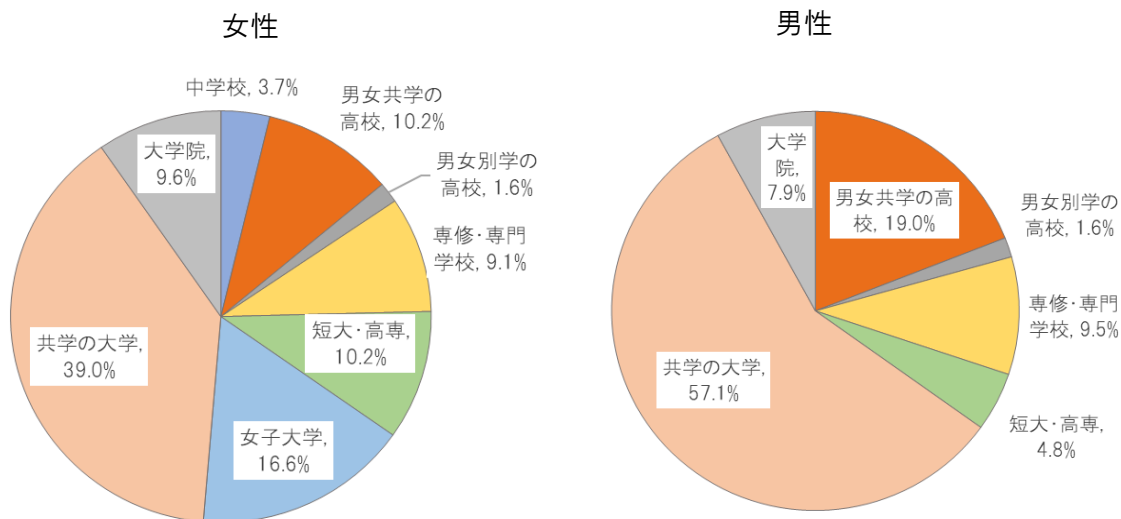
	現在在籍中	すでに卒業	計
回答数	8	179	187
構成比	4.3%	95.7%	

男性

	現在在籍中	すでに卒業	計
回答数	3	60	63
構成比	4.8%	95.2%	

(4)在学中または最後に卒業した学校

在学中または最後に卒業した学校については、「大学」「大学院」と回答した人は女性で65.2%、男性で65.0%と男女ともに7割に近い割合であった。



女性

※()は在籍中

	中学校	男女共学の高校	男女別学の高校	専修・専門学校	短大・高専	女子大学	共学の大学	大学院	その他	計
全体	7 3.7%	19(2) 10.2%	3 1.6%	17(1) 9.1%	19 10.2%	31(2) 16.6%	73(2) 39.0%	18(1) 9.6%		187
10代		2(2) 66.7%				1(1) 33.3%				3
20代	5 6.9%	7 9.7%	2 2.8%	4(1) 5.6%	1 1.4%	17(1) 23.6%	27(2) 37.5%	9(1) 12.5%		72
30代	2 3.6%	8 14.3%	1 1.8%	5 8.9%	5 8.9%	9 16.1%	22 39.3%	4 7.1%		56
40代		2 5.1%		4 10.3%	9 23.1%	3 7.7%	17 43.6%	4 10.3%		39
50代				4 23.5%	4 23.5%	1 5.9%	7 41.2%	1 5.9%		17

男性

※()は在籍中

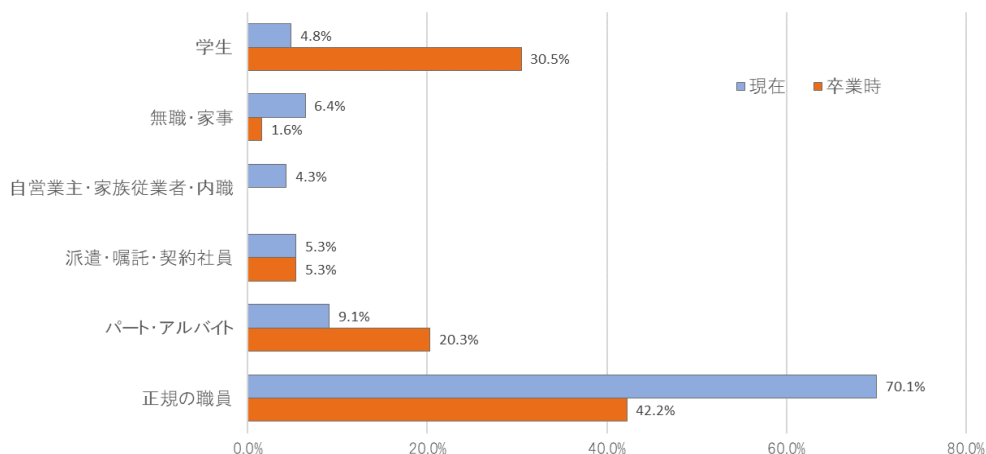
	中学校	男女共学の高校	男女別学の高校	専修・専門学校	短大・高専	女子大学	共学の大学	大学院	その他	計
全体		12 19.0%	1 1.6%	6 9.5%	3 4.8%		36(3) 57.1%	5 7.9%		63
10代							1(1) 100.0%			1
20代		5 21.7%		3 13.0%	1 4.3%		13(2) 69.6%	1 4.3%		23
30代		1 8.3%					10 83.3%	1 8.3%		12
40代		4 22.2%		2 11.1%	2 11.1%		7 38.9%	3 16.7%		18
50代		2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%			5 55.6%			9

(5)就労の有無

①女性

女性のそれぞれの時期の就業状況については、「正規の職員」は卒業時が42.2%であったのに対して、現在は70.1%と27.9ポイント増の1.6倍となっている。
逆に、「パート・アルバイト」は卒業時20.3%であるが、現在は9.1%に減少している。

女性のそれぞれの時期の就業状況



最後に学校を卒業した時

	正規の職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業者・内職	無職・家事	学生	計
全体	79 42.2%	38 20.3%	10 5.3%		3 1.6%	57 30.5%	187
10代						3 100.0%	3
20代	17 23.6%	21 29.2%	1 1.4%		1 1.4%	32 44.4%	72
30代	30 53.6%	10 17.9%	3 5.4%		2 3.6%	11 19.6%	56
40代	20 51.3%	6 15.4%	5 12.8%			8 20.5%	39
50代	12 70.6%	1 5.9%	1 5.9%			3 17.6%	17

現在

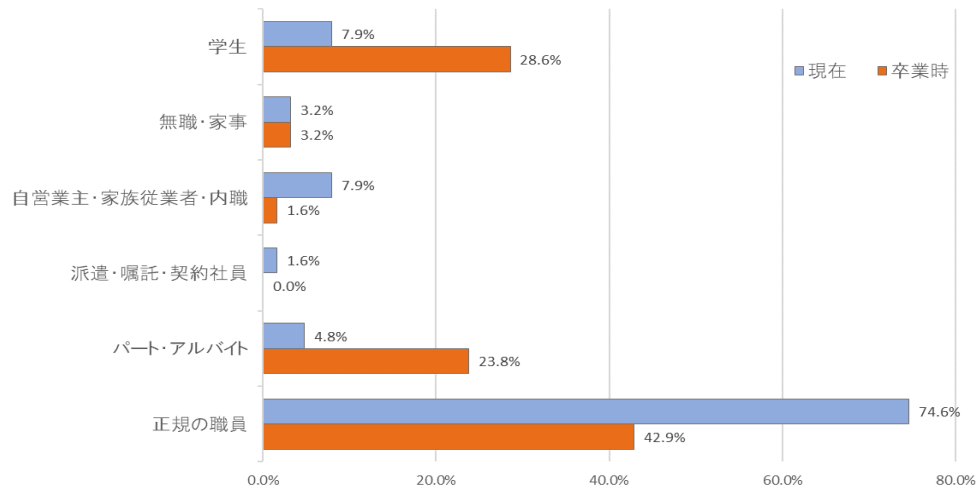
	正規の職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業者・内職	無職・家事	学生	計
全体	131 70.1%	17 9.1%	10 5.3%	8 4.3%	12 6.4%	9 4.8%	187
10代						3 100%	3
20代	54 75.0%	3 4.2%	2 2.8%	1 1.4%	6 8.3%	6 8.3%	72
30代	38 67.9%	7 12.5%	3 5.4%	5 8.9%	3 5.4%		56
40代	28 71.8%	3 7.7%	4 10.3%	2 5.1%	2 5.1%		39
50代	11 64.7%	4 23.5%	1 5.9%		1 5.9%		17

②男性

男性のそれぞれの就業時期については、「正規の職員」が卒業時(42.9%)に比べて現在(74.6%)は1.7倍となっている。

逆に、「パート・アルバイト」については、卒業時23.8%、現在4.8%と約5分の1に減少している。

男性のそれぞれの時期の就業状況



最後に学校を卒業した時

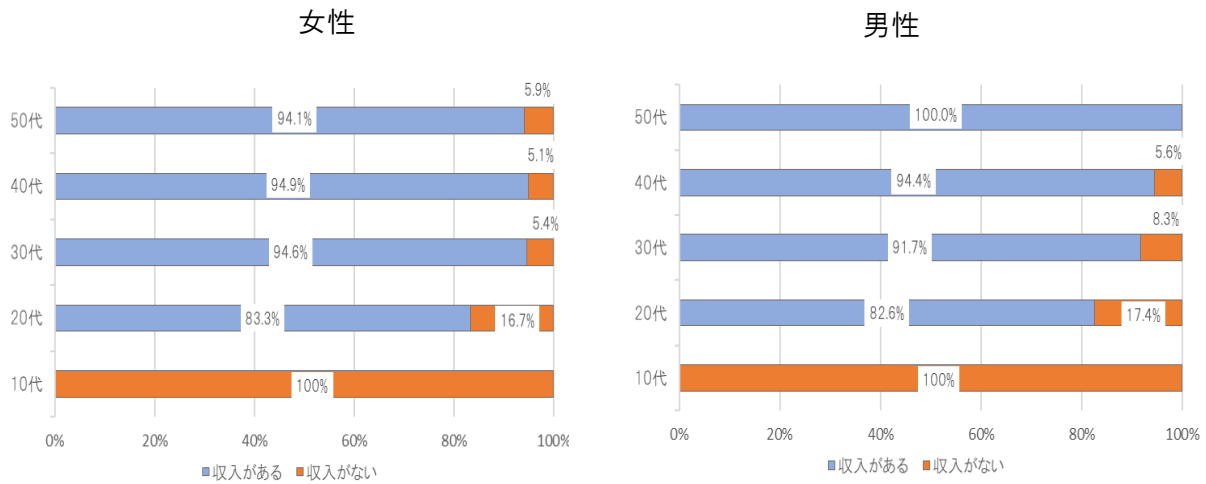
	正規の職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業者・内職	無職・家事	学生	計
全体	27 42.9%	15 23.8%		1 1.6%	2 3.2%	18 28.6%	63
10代						1 100.0%	1
20代	7 30.4%	8 34.8%				8 34.8%	23
30代	6 50.0%	3 25.0%				3 25.0%	12
40代	7 38.9%	4 22.2%		1 5.6%	2 11.1%	4 22.2%	18
50代	7 77.8%					2 22.2%	9

現在

	正規の職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業者・内職	無職・家事	学生	計
全体	47 74.6%	3 4.8%	1 1.6%	5 7.9%	2 3.2%	5 7.9%	63
10代						1 100%	1
20代	15 65.2%	3 13.0%		1 4.3%	1 4.3%	3 13.0%	23
30代	10 83.3%			1 8.3%		1 8.3%	12
40代	14 77.8%		1 5.6%	2 11.1%	1 5.6%		18
50代	8 88.9%			1 11.1%			9

(6) 現在収入のある仕事をしている人の年齢

男女ともに年齢が高くなるにつれて収入のある仕事をしている人の割合が高くなっている。年代ごとに男女を比較すると、収入のある仕事をしている人と収入がない人の割合はほとんど差がない。

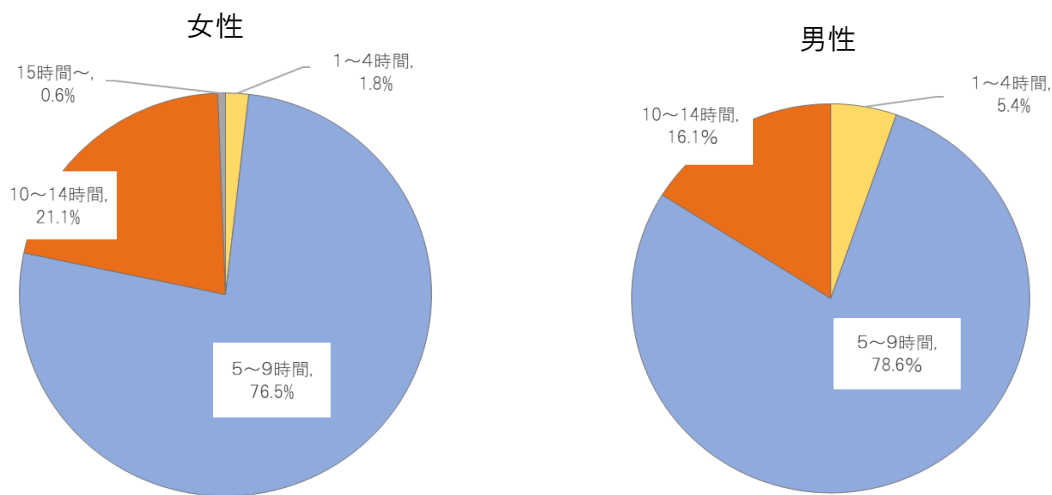


年齢	10代	20代	30代	40代	50代	全体
収入がある		60	53	37	16	166
		83.3%	94.6%	94.9%	94.1%	89%
収入がない	3	12	3	2	1	21
	100%	16.7%	5.4%	5.1%	5.9%	11.2%
計	3	72	56	39	17	187

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	全体
収入がある		19	11	17	9	56
		82.6%	91.7%	94.4%	100.0%	88.9%
収入がない	1	4	1	1		7
	100%	17.4%	8.3%	5.6%		11.1%
計	1	23	12	18	9	63

(7)1日の平均的な労働時間

1日の平均的な労働時間は、男女ともに「5～9時間」が最も多く、女性が76.5%、男性が78.6%である。「10～14時間」の長時間労働をしているのは、女性が21.1%、男性が16.1%と女性が多い。



女性

	1～4時間	5～9時間	10～14時間	15時間～	計
全体	3 1.8%	127 76.5%	35 21.1%	1 0.6%	166
10代					
20代	2 3.3%	55 91.7%	3 5.0%		60
30代		38 71.7%	14 26.4%	1 1.9%	53
40代		26 70.3%	11 29.7%		37
50代	1 6.3%	8 50.0%	7 43.8%		16

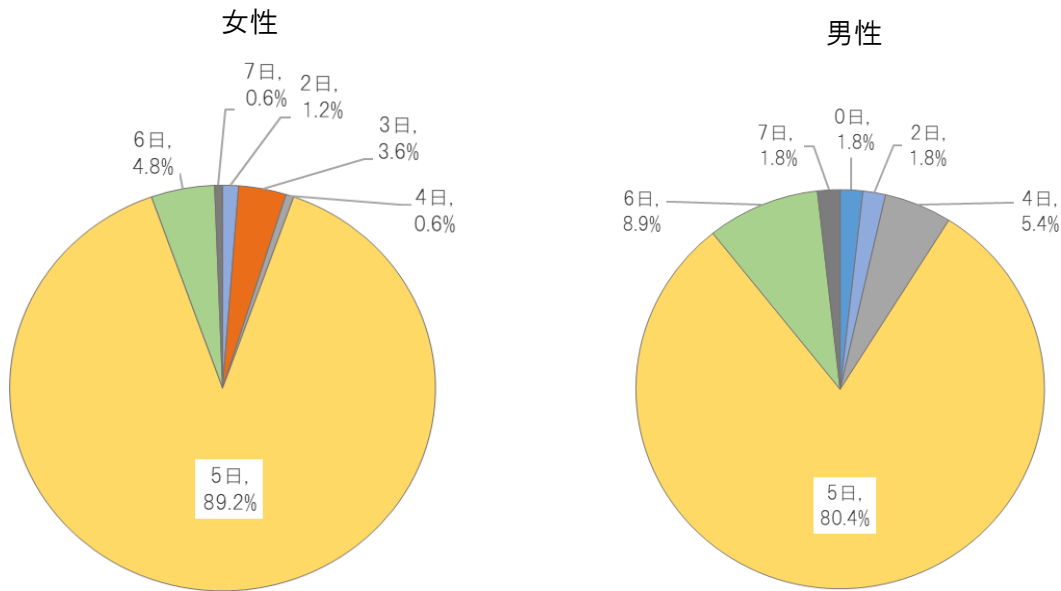
男性

	1～4時間	5～9時間	10～14時間	15時間～	計
全体	3 5.4%	44 78.6%	9 16.1%		56
10代					
20代	2 10.5%	14 73.7%	3 15.8%		19
30代		9 81.8%	2 18.2%		11
40代	1 5.9%	14 82.4%	2 11.8%		17
50代		7 77.8%	2 22.2%		9

(8)1週間の平均的な労働日数

1週間の平均的な労働日数については、男女とも「5日」が最も多く、女性が89.2%、男性が80.4%であった。

男性の1割は「6日」及び「7日」の労働をしている。



女性

	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	計
全体			2 1.2%	6 3.6%	1 0.6%	148 89.2%	8 4.8%	1 0.6%	166
10代									
20代			1 1.7%	1 1.7%		58 96.7%			60
30代				2 3.8%	1 1.9%	44 83.0%	5 9.4%	1 1.9%	53
40代			1 2.7%	2 5.4%		32 86.5%	2 5.4%		37
50代				1 6.3%		14 87.5%	1 6.3%		16

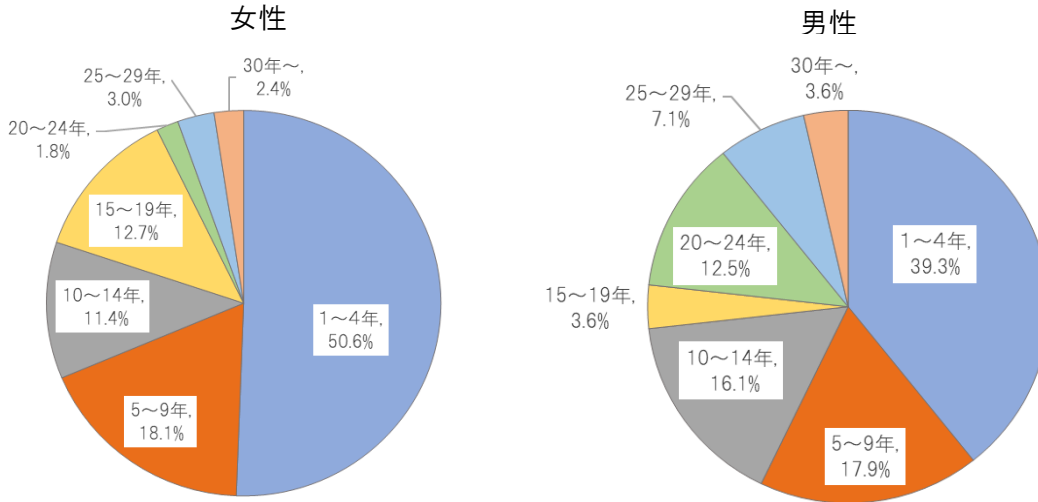
男性

	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	計
全体	1 1.8%		1 1.8%		3 5.4%	45 80.4%	5 8.9%	1 1.8%	56
10代									
20代	1 5.3%		1 5.3%		1 5.3%	14 73.7%	2 10.5%		19
30代						10 90.9%	1 9.1%		11
40代					1 5.9%	15 88.2%	1 5.9%		17
50代					1 11.1%	6 66.7%	1 11.1%	1 11.1%	9

(9)仕事の勤続年数

仕事の継続年数について、女性は「1～4年」が50.6%、「5～9年」が18.1%と、10年未満の回答が約7割であった。勤続年数の長い「20～24年」、「25～29年」は合わせても4.8%である。

男性は、「1～4年」が39.3%、「5～9年」が17.9%と10年未満の回答は57.2%である。「20～24年」「25～29年」の勤続年数の回答は19.6%で女性の4倍となる。



女性

	1～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年～	計
全体	84 50.6%	30 18.1%	19 11.4%	21 12.7%	3 1.8%	5 3.0%	4 2.4%	166
10代								
20代	53 88.3%	6 10.0%	1 1.7%					60
30代	22 41.5%	14 26.4%	10 18.9%	7 13.2%				53
40代	5 13.5%	7 18.9%	6 16.2%	14 37.8%	2 5.4%	3 8.1%		37
50代	4 25.0%	3 18.8%	2 12.5%		1 6.3%	2 12.5%	4 25.0%	16

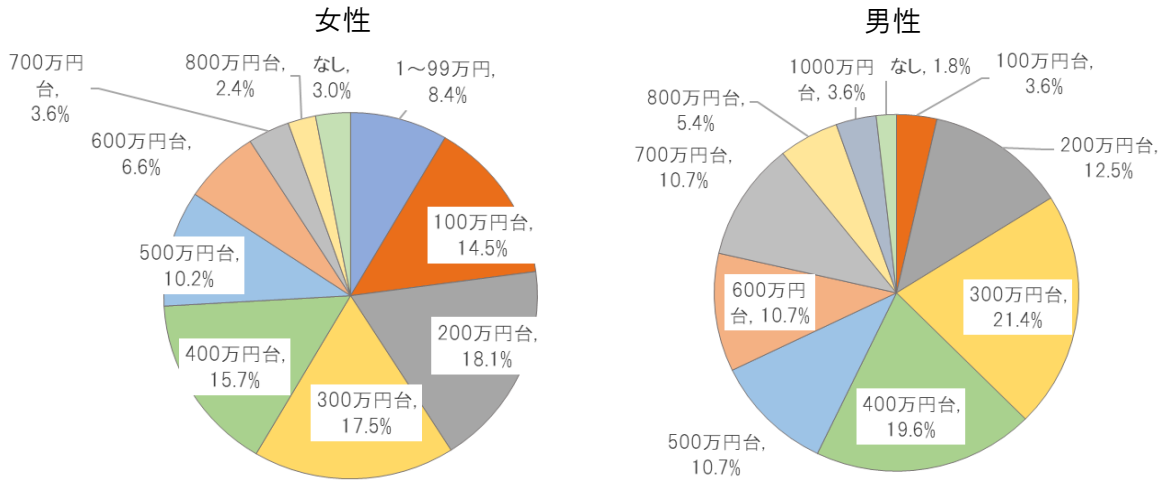
男性

	1～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年～	計
全体	22 39.3%	10 17.9%	9 16.1%	2 3.6%	7 12.5%	4 7.1%	2 3.6%	56
10代								
20代	15 78.9%	4 21.1%						19
30代	3 27.3%	3 27.3%	5 45.5%					11
40代	2 11.8%	3 17.6%	3 17.6%	2 11.8%	6 35.3%	1 5.9%		17
50代	2 22.2%		1 11.1%		1 11.1%	3 33.3%	2 22.2%	9

(10) 昨年の年収(税込み)

昨年の年収について。女性は全体では、「200万円台」が最も多く18.1%である。20代では「300万円台」の割合が28.3%と一番多いが、「なし」「1～99万円」合わせて23.3%ある。

男性は、全体では「300万円台」が最も多く21.4%である。年代が上がると年収も高くなる傾向にあるが、40代は「400万円台」が29.4%が一番多く、30代の「500万円台」36.4%よりも低い。



女性

	1～99万円	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1000万円台	なし	計
全体	14 8.4%	24 14.5%	30 18.1%	29 17.5%	26 15.7%	17 10.2%	11 6.6%	6 3.6%	4 2.4%			5 3.0%	166
10代													
20代	11 18.3%	7 11.7%	14 23.3%	17 28.3%	7 11.7%	1 1.7%						3 5.0%	60
30代	2 3.8%	7 13.2%	8 15.1%	10 18.9%	11 20.8%	9 17.0%	2 3.8%	2 3.8%				2 3.8%	53
40代		6 16.2%	5 13.5%	1 2.7%	7 18.9%	7 18.9%	6 16.2%	4 10.8%	1 2.7%				37
50代	1 6.3%	4 25.0%	3 18.8%	1 6.3%	1 6.3%		3 18.8%		3 18.8%				16

男性

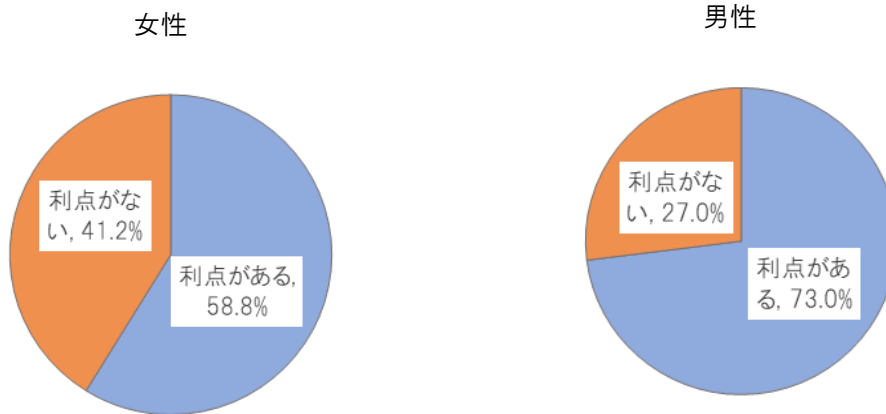
	1～99万円	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1000万円台	なし	計
全体		2 3.6%	7 12.5%	12 21.4%	11 19.6%	6 10.7%	6 10.7%	6 10.7%	3 5.4%		2 3.6%	1 1.8%	56
10代													
20代		2 10.5%	4 21.1%	9 47.4%	3 15.8%							1 5.3%	19
30代			1 9.1%	2 18.2%	2 18.2%	4 36.4%	1 9.1%				1 9.1%		11
40代			1 5.9%	1 5.9%	5 29.4%	2 11.8%	3 17.6%	3 17.6%	2 11.8%				17
50代			1 11.1%		1 11.1%		2 22.2%	3 33.3%	1 11.1%		1 11.1%		9

2.結婚観

(1)結婚することの利点

①結婚することの利点の有無

結婚することの利点について、「利点がある」と回答した女性が58.8%に対して、男性が73.0%と14.2ポイント多い。

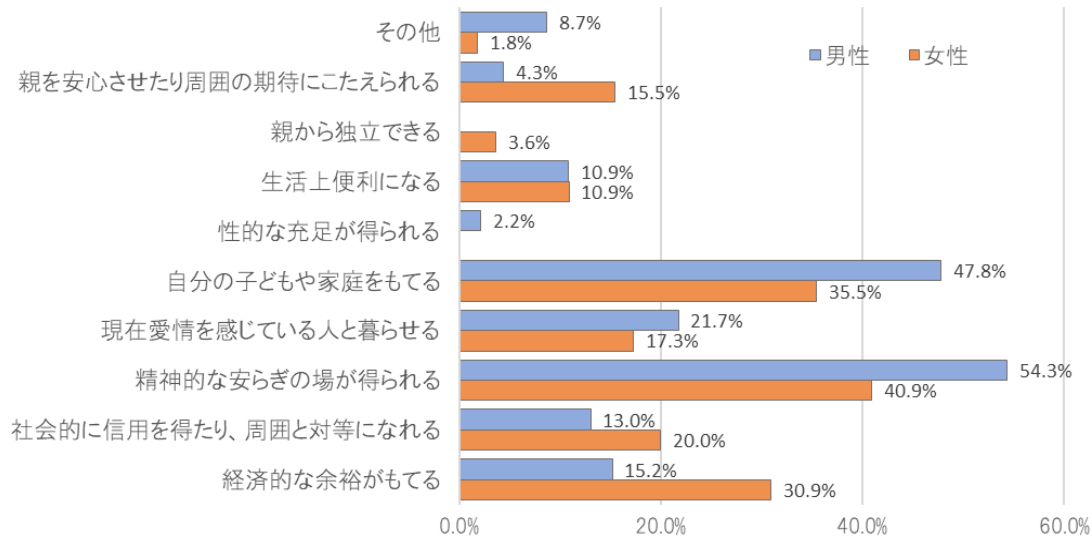


	利点がある	利点がない	計
全体	156 62.4%	94 37.6%	250
女性	110 58.8%	77 41.2%	187
男性	46 73.0%	17 27.0%	63

②結婚することの具体的な利点

結婚することの具体的な利点で、男女とも「精神的な安らぎの場が得られる」「自分の子どもや家族をもてる」の割合が高い。
女性と男性の比較では、女性は「経済的な余裕が持てる」「社会的に信頼を得たり、周囲と対等になれる」の回答が多く、男性は「現在愛情を感じている人と暮らせる」と回答した割合が多い。

結婚することの具体的な利点(複数回答)



女性

	経済的な余裕がもてる	社会的に信用を得たり、周囲と対等になれる	精神的な安らぎの場が得られる	現在愛情を感じている人と暮らせる	自分の子どもや家庭をもてる	性的な充足が得られる	生活上便利になる	親から独立できる	親を安心させたり周囲の期待にこたえられる	その他	回答数
全体	34 30.9%	22 20.0%	45 40.9%	19 17.3%	39 35.5%		12 10.9%	4 3.6%	17 15.5%	2 1.8%	110
10代											
20代	10 20.4%	9 18.4%	22 44.9%	12 24.5%	24 49.0%		2 4.1%	2 4.1%	9 18.4%	1 2.0%	49
30代	10 29.4%	6 17.6%	14 41.2%	4 11.8%	11 32.4%		4 11.8%	1 2.9%	4 11.8%	1 2.9%	34
40代	11 55.0%	5 25.0%	6 30.0%	3 15.0%	3 15.0%		5 25.0%	1 5.0%	3 15.0%		20
50代	3 42.9%	2 28.6%	3 42.9%		1 14.3%		1 14.3%		1 14.3%		7

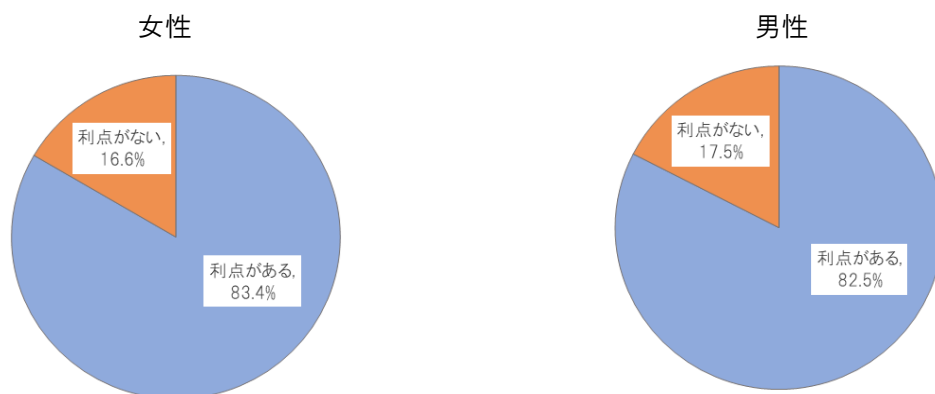
男性

	経済的な余裕がもてる	社会的に信用を得たり、周囲と対等になれる	精神的な安らぎの場が得られる	現在愛情を感じている人と暮らせる	自分の子どもや家庭をもてる	性的な充足が得られる	生活上便利になる	親から独立できる	親を安心させたり周囲の期待にこたえられる	その他	回答数
全体	7 15.2%	6 13.0%	25 54.3%	10 21.7%	22 47.8%	1 2.2%	5 10.9%		2 4.3%	4 8.7%	46
10代			1 100%	1 100%							1
20代	2 14.3%	2 14.3%	9 64.3%	4 28.6%	8 57.1%		1 7.1%		1 7.1%		14
30代			5 62.5%	2 25.0%	6 75.0%		1 12.5%				8
40代	4 26.7%	3 20.0%	6 40.0%	2 13.3%	6 40.0%	1 6.7%	2 13.3%		1 6.7%	2 13.3%	15
50代	1 12.5%	1 12.5%	4 50.0%	1 12.5%	2 25.0%		1 12.5%			2 25.0%	8

(2)独身生活の利点

①独身生活の利点の有無

独身生活の利点について、「利点がある」と回答した女性は83.4%、男性は82.5%とほぼ同じ割合であった。

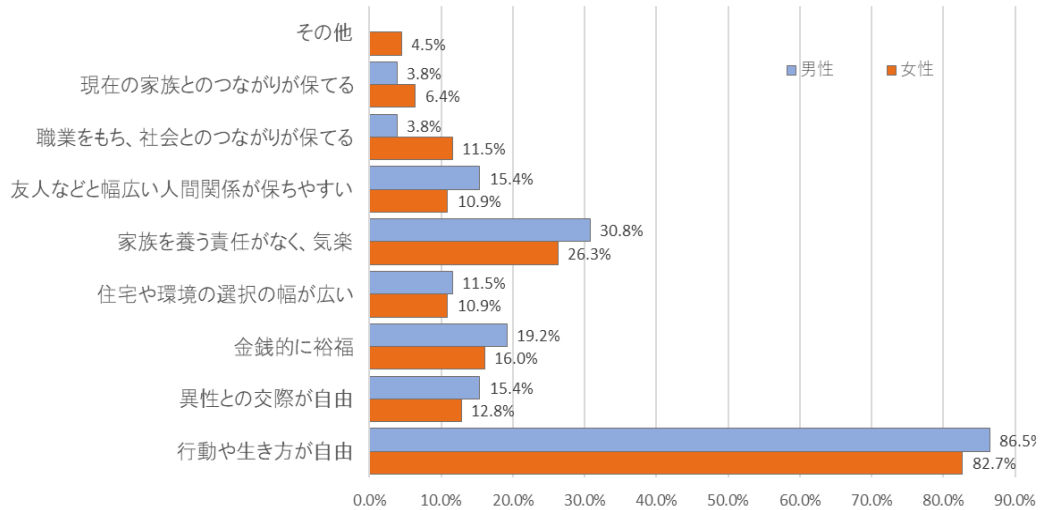


	利点がある	利点がない	計
全体	208 83.2%	42 16.8%	250
女性	156 83.4%	31 16.6%	187
男性	52 82.5%	11 17.5%	63

②独身生活の具体的な利点

独身生活の具体的な利点について、男女ともに「行動や生き方が自由」の回答が突出して多い。(女性82.7%、男性86.5%)次いで、多いのが「家族を養う責任がなく、気楽」であり、女性が26.3%、男性30.8%である。

独身生活の具体的な利点(複数回答)



女性

	行動や生き方が自由	異性との交際が自由	金銭的に裕福	住宅や環境の選択の幅が広い	家族を養う責任がなく、気楽	友人など幅広い人間関係が保ちやすい	職業をもち、社会とのつながりが保てる	現在の家族とのつながりが保てる	その他	回答数
全体	129 82.7%	20 12.8%	25 16.0%	17 10.9%	41 26.3%	17 10.9%	18 11.5%	10 6.4%	7 4.5%	156
10代	2 66.7%						1 33.3%		1 33.3%	3
20代	50 78.1%	13 20.3%	11 17.2%	8 12.5%	21 32.8%	10 15.6%	4 6.3%	3 4.7%	1 1.6%	64
30代	42 89.4%	2 4.3%	11 23.4%	8 17.0%	9 19.1%	3 6.4%	5 10.6%	3 6.4%	2 4.3%	47
40代	27 81.8%	5 15.2%	2 6.1%	1 3.0%	9 27.3%	3 9.1%	5 15.2%	3 9.1%	2 6.1%	33
50代	8 88.9%		1 11.1%		2 22.2%	1 11.1%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	9

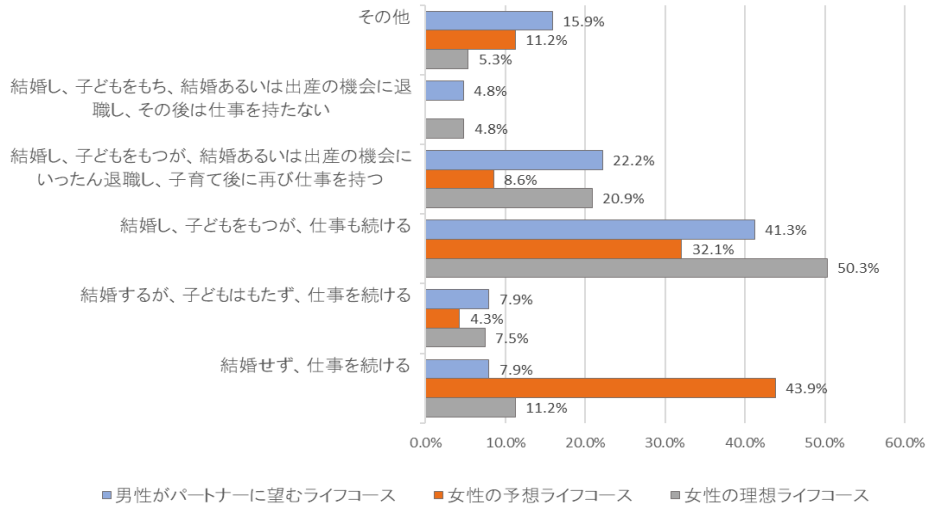
男性

	行動や 生き方が自由	異性と の交際が自由	金銭的 に裕福	住宅や 環境の 選択の 幅が広い	家族を 養う責 任がなく、 気楽	友人な どと幅 広い人 間関係 が保ち やすい	職業を もち、 社会と のつなが りが保 てる	現在の 家族と のつなが りが保 てる	その他	回答 数
全体	45 86.5%	8 15.4%	10 19.2%	6 11.5%	16 30.8%	8 15.4%	2 3.8%	2 3.8%		52
10代	1 100%				1 100%					1
20代	15 78.9%	3 15.8%	3 15.8%	2 10.5%	8 42.1%	1 5.3%	1 5.3%	1 5.3%		19
30代	11 100%	3 27.3%	1 9.1%	1 9.1%	2 18.2%	3 27.3%				11
40代	10 83.3%	2 16.7%	2 16.7%	3 25.0%	4 33.3%	2 16.7%				12
50代	8 88.9%		4 44.4%		1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%		9

(3)結婚・出産・仕事をめぐる女性のライフコース

女性のライフコースについて、理想のライフコースは、「結婚し、子どもをもつが、仕事も続ける」が50.3%と最も多いが、予想ライフコースは、「結婚せず、仕事を続ける」で43.9%であった。男性がパートナーに望むライフコースは、「結婚し、子どもをもつが、仕事も続ける」43.9%が最も多く、次いで「結婚し、子どもをもつが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事をもち、子育て後に再び仕事をもち」が22.2%であった。

結婚・出産・仕事をめぐる女性のライフコース



①女性の理想のライフコース(女性のみ回答)

	結婚せず、仕事を続ける	結婚するが、子どもはもたず、仕事を続ける	結婚し、子どもをもつが、仕事も続ける	結婚し、子どもをもつが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事をもち	結婚し、子どもをもち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない	その他	計
全体	21 11.2%	14 7.5%	94 50.3%	39 20.9%	9 4.8%	10 5.3%	187
10代	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%				3
20代	9 12.5%	4 5.6%	35 48.6%	17 23.6%	5 6.9%	2 2.8%	72
30代	5 8.9%	4 7.1%	29 51.8%	9 16.1%	3 5.4%	6 10.7%	56
40代	5 12.8%	3 7.7%	23 59.0%	7 17.9%		1 2.6%	39
50代	1 5.9%	2 11.8%	6 35.3%	6 35.3%	1 5.9%	1 5.9%	17

②女性の予想ライフコース(女性のみ回答)

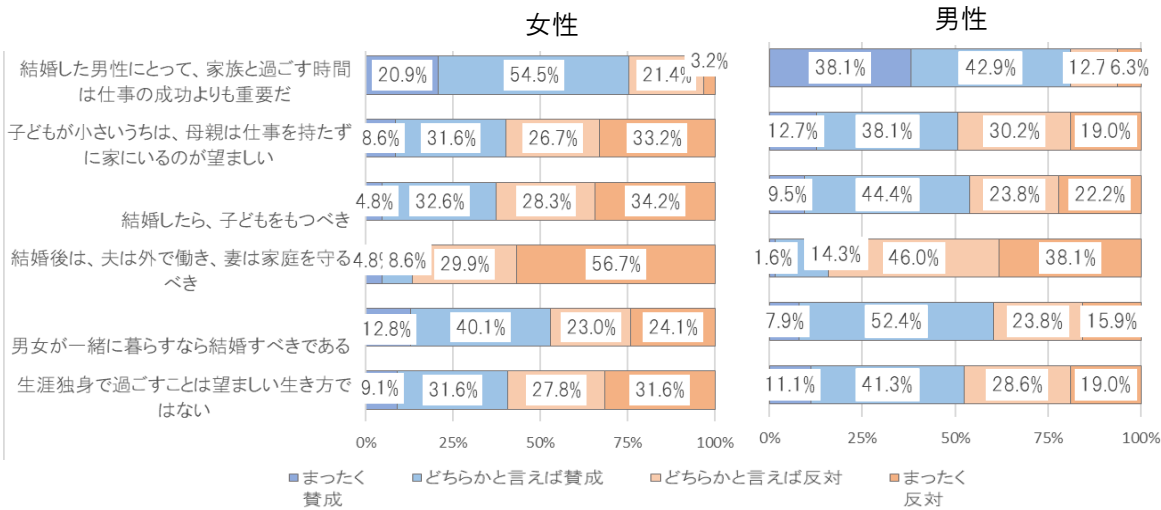
	結婚せず、仕事を続ける	結婚するが、子どもはもたず、仕事を続ける	結婚し、子どもをもつが、仕事も続ける	結婚し、子どもをもつが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ	結婚し、子どもをもち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない	その他	計
全体	82 43.9%	8 4.3%	60 32.1%	16 8.6%	0	21 11.2%	187
10代	2 66.7%		1 33.3%				3
20代	22 30.6%	2 2.8%	35 48.6%	10 13.9%		3 4.2%	72
30代	30 53.6%	3 5.4%	14 25.0%	2 3.6%		7 12.5%	56
40代	17 43.6%	2 5.1%	8 20.5%	3 7.7%		9 23.1%	39
50代	11 64.7%	1 5.9%	2 11.8%	1 5.9%		2 11.8%	17

③男性がパートナーに望むライフコース(男性のみ回答)

	結婚せず、仕事を続ける	結婚するが、子どもはもたず、仕事を続ける	結婚し、子どもをもつが、仕事も続ける	結婚し、子どもをもつが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ	結婚し、子どもをもち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない	その他	計
全体	5 7.9%	5 7.9%	26 41.3%	14 22.2%	3 4.8%	10 15.9%	63
10代				1 100%			1
20代	1 4.3%	2 8.7%	9 39.1%	4 17.4%	1 4.3%	6 26.1%	23
30代	2 16.7%	1 8.3%	5 41.7%	2 16.7%		2 16.7%	12
40代	1 5.6%	2 11.1%	10 55.6%	5 27.8%			18
50代	1 11.1%		2 22.2%	2 22.2%	2 22.2%	2 22.2%	9

(4)結婚、子育てに関する意識(独身者)

結婚、子育てに関する意識について、「結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ」は男女ともに約8割(女性75.4%、男性81.0%)が賛成である。また、「結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」は、男女とも約8割(女性86.6%、男性84.1%)が反対である。「子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい」「結婚したら、子どもをもつべき」「生涯独身で過ごすことは望ましい生き方ではない」については、女性は反対が多く、男性は賛成の割合が多い。



女性

	まったく賛成	どちらかと言えば賛成	どちらかと言えば反対	まったく反対	計
生涯独身で過ごすことは望ましい生き方ではない	17 9.1%	59 31.6%	52 27.8%	59 31.6%	187
男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	24 12.8%	75 40.1%	43 23.0%	45 24.1%	187
結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべき	9 4.8%	16 8.6%	56 29.9%	106 56.7%	187
結婚したら、子どもをもつべき	9 4.8%	61 32.6%	53 28.3%	64 34.2%	187
子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい	16 8.6%	59 31.6%	50 26.7%	62 33.2%	187
結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ	39 20.9%	102 54.5%	40 21.4%	6 3.2%	187

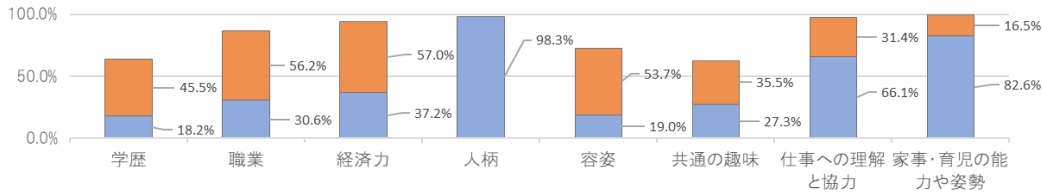
男性

	まったく賛成	どちらかと言えば賛成	どちらかと言えば反対	まったく反対	計
生涯独身で過ごすことは望ましい生き方ではない	7 11.1%	26 41.3%	18 28.6%	12 19.0%	63
男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	5 7.9%	33 52.4%	15 23.8%	10 15.9%	63
結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべき	1 1.6%	9 14.3%	29 46.0%	24 38.1%	63
結婚したら、子どもをもつべき	6 9.5%	28 44.4%	15 23.8%	14 22.2%	63
子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい	8 12.7%	24 38.1%	19 30.2%	12 19.0%	63
結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ	24 38.1%	27 42.9%	8 12.7%	4 6.3%	63

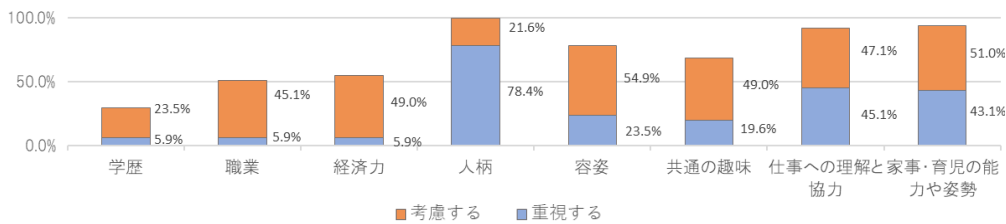
(5)結婚相手に求める条件

結婚相手に求める条件として重視・考慮するものは、女性では、「家事・育児の能力や姿勢」(99.1%)について「人柄」(98.3%)、「仕事への理解と協力」(97.5%)、「経済力」(94.2%)であった。男性では、「人柄」を重視・考慮するが100%の回答である。次いで、「家事・育児の能力や姿勢」(94.1%)、「仕事への理解と協力」(92.2%)である。

女性が相手の男性に求める条件(複数回答)



男性が相手の女性に求める条件(複数回答)



①相手の学歴

	重視する	考慮する	あまり関係ない	回答数
全体	25 14.5%	67 39.0%	80 46.5%	172
女性	22 18.2%	55 45.5%	44 36.4%	121
男性	3 5.9%	12 23.5%	36 70.6%	51

②相手の職業

	重視する	考慮する	あまり関係ない	回答数
全体	40 23.3%	91 52.9%	41 23.8%	172
女性	37 30.6%	68 56.2%	16 13.2%	121
男性	3 5.9%	23 45.1%	25 49.0%	51

③相手の収入などの経済力

	重視する	考慮する	あまり関係ない	回答数
全体	48 27.9%	94 54.7%	30 17.4%	172
女性	45 37.2%	69 57.0%	7 5.8%	121
男性	3 5.9%	25 49.0%	23 45.1%	51

④相手の人から

	重視する	考慮する	あまり関係ない	回答数
全体	159 92.4%	11 6.4%	2 1.2%	172
女性	119 98.3%	0 0.0%	2 1.7%	121
男性	40 78.4%	11 21.6%	0 0.0%	51

⑤相手の容姿

	重視する	考慮する	あまり関係ない	回答数
全体	35 20.3%	93 54.1%	44 25.6%	172
女性	23 19.0%	65 53.7%	33 27.3%	121
男性	12 23.5%	28 54.9%	11 21.6%	51

⑥共通の趣味の有無

	重視する	考慮する	あまり関係ない	回答数
全体	43 25.0%	68 39.5%	61 35.5%	172
女性	33 27.3%	43 35.5%	45 37.2%	121
男性	10 19.6%	25 49.0%	16 31.4%	51

⑦自分の仕事に対する理解と協力

	重視する	考慮する	あまり関係ない	回答数
全体	103 59.9%	62 36.0%	7 4.1%	172
女性	80 66.1%	38 31.4%	3 2.5%	121
男性	23 45.1%	24 47.1%	4 7.8%	51

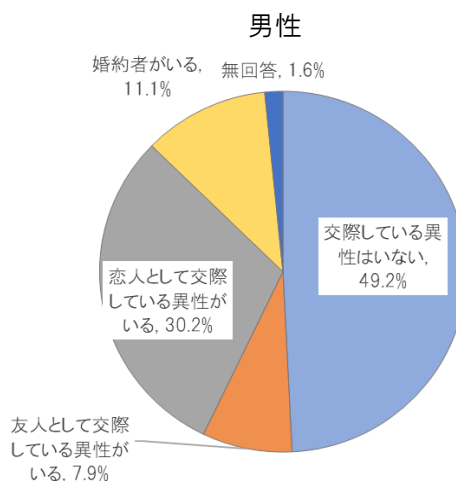
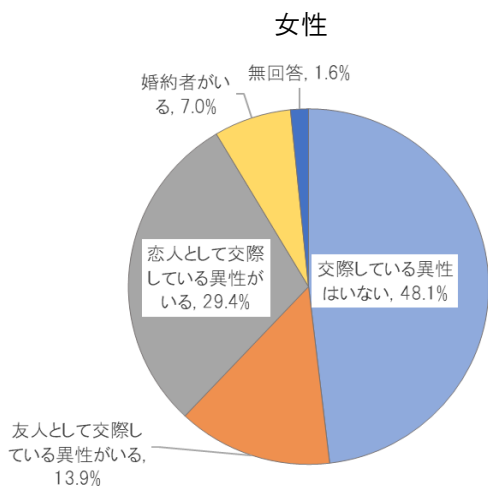
⑧家事・育児に対する能力や姿勢

	重視する	考慮する	あまり関係ない	回答数
全体	122 70.9%	46 26.7%	4 2.3%	172
女性	100 82.6%	20 16.5%	1 0.8%	121
男性	22 43.1%	26 51.0%	3 5.9%	51

(6)異性との交際状況

①異性との交際状況

異性との交際状況について、男女ともに約5割が「交際している異性はいない」と回答している。(女性48.1%、男性49.2%)



女性

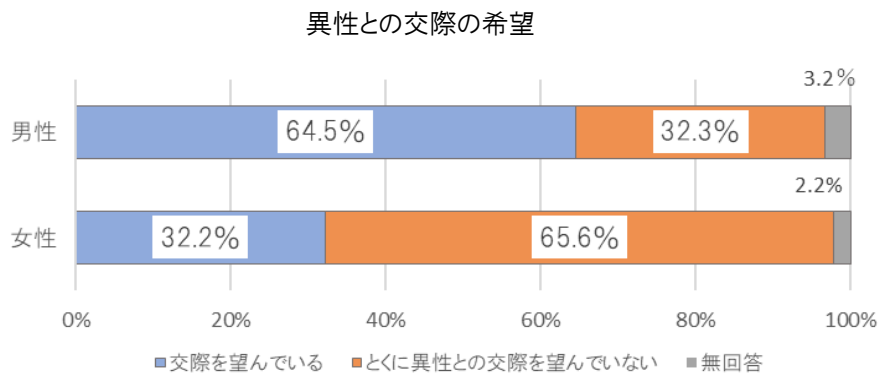
	交際している異性はいない	友人として交際している異性がある	恋人として交際している異性がある	婚約者がいる	無回答	計
全体	90 48.1%	26 13.9%	55 29.4%	13 7.0%	3 1.6%	187
10代	3 100%					3
20代	25 34.7%	9 12.5%	31 43.1%	7 9.7%		72
30代	30 53.6%	8 14.3%	12 21.4%	5 8.9%	1 1.8%	56
40代	22 56.4%	5 12.8%	10 25.6%	1 2.6%	1 2.6%	39
50代	10 58.8%	4 23.5%	2 11.8%		1 5.9%	17

男性

	交際している異性はいない	友人として交際している異性がある	恋人として交際している異性がある	婚約者がいる	無回答	計
全体	31 49.2%	5 7.9%	19 30.2%	7 11.1%	1 1.6%	63
10代		1 100%				1
20代	14 60.9%	2 8.7%	7 30.4%			23
30代	4 33.3%		5 41.7%	2 16.7%	1 8.3%	12
40代	9 50.0%	2 11.1%	4 22.2%	3 16.7%		18
50代	4 44.4%		3 33.3%	2 22.2%		9

②異性との交際の希望

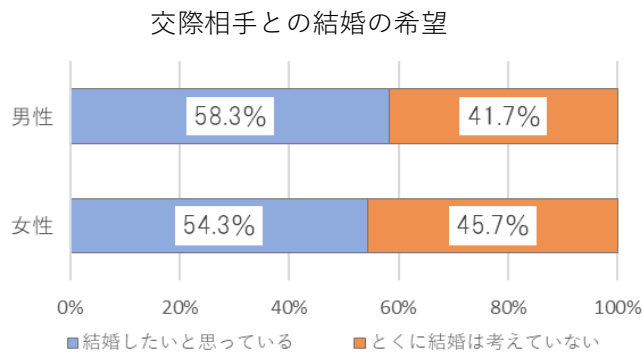
交際している異性がないと回答した人のうち、異性との交際を希望すると回答したのは、女性が32.3%、男性が64.5%であった。



	交際を望んでいる	とくに異性との交際を望んでいない	無回答	計
全体	49 40.5%	69 57.0%	3 2.5%	121
女性	29 32.2%	59 65.6%	2 2.2%	90
男性	20 64.5%	10 32.3%	1 3.2%	31

③交際相手との結婚の希望

異性の交際相手がいると回答した人のうち、交際相手との結婚の希望すると回答したのは、男性が58.3%、女性が54.3%であった。

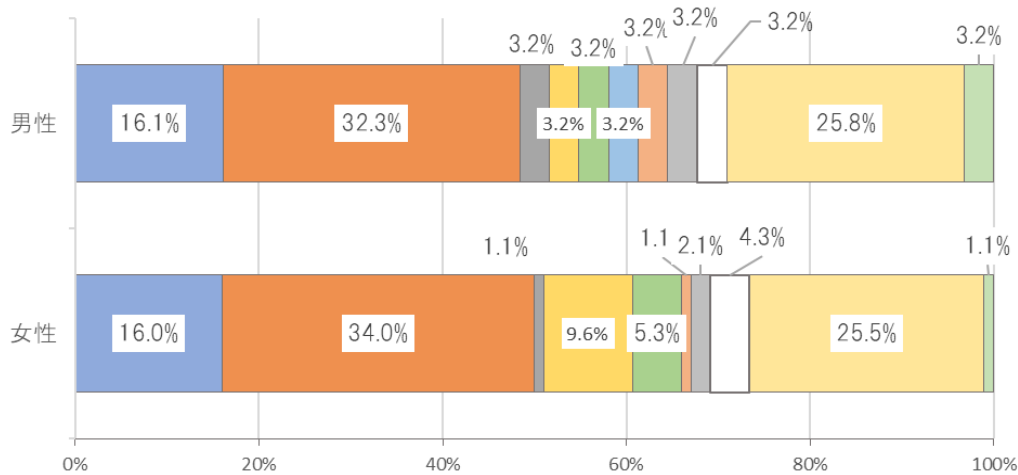


	結婚したいと思っている	とくに結婚は考えていない	無回答	計
全体	58 55.2%	47 44.8%		105
女性	44 54.3%	37 45.7%		81
男性	14 58.3%	10 41.7%		24

④異性の交際相手と知り合ったきっかけ

異性の交際相手と知り合ったきっかけは、男女ともに「職場や仕事の関係で」が最も多く、女性が34.0%、男性が32.3%であった。次いで「ネットで(SNS、ウェブサイト、アプリ等)」で女性が25.5%、男性が25.8%である。特に、30代の女性が「ネットで(SNS、ウェブサイト、アプリ等)」と回答した割合が高く40.0%であった。

異性の交際相手と知り合ったきっかけ



- 学校で
- 幼なじみ・隣人関係
- 友人や兄弟姉妹を通じて
- 結婚相談所で(オンラインを含む)
- アルバイトで
- その他
- 職場や仕事の関係で
- 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごと
- 見合いで(親戚、上役などの紹介も含む)
- 街なかや旅先で
- ネットで(SNS、ウェブサイト、アプリ等)

女性

	学校で	職場や仕事の関係で	幼なじみ・隣人関係	学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごと	友人や兄弟姉妹を通じて	見合いで(親戚、上役などの紹介も含む)	結婚相談所で(オンラインを含む)	街なかや旅先で	アルバイトで	ネットで(SNS、ウェブサイト、アプリ等)	その他	回答数
全体	15 16.0%	32 34.0%	1 1.1%	9 9.6%	5 5.3%		1 1.1%	2 2.1%	4 4.3%	24 25.5%	1 1.1%	94
10代												
20代	14 29.8%	10 21.3%	1 2.1%	6 12.8%	2 4.3%			1 2.1%	3 6.4%	9 19.1%	1 2.1%	47
30代	1 4.0%	10 40.0%			2 8.0%		1 4.0%		1 4.0%	10 40.0%		25
40代		7 43.8%		3 18.8%	1 6.3%			1 6.3%		4 25.0%		16
50代		5 83.3%								1 16.7%		6

男性

	学校で	職場や仕事の関係で	幼なじみ・隣人関係	学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごと	友人や兄弟姉妹を通じて	見合いで(親戚、上役などの紹介も含む)	結婚相所で(オンラインを含む)	街なかや旅先で	アルバイトで	ネットで(SNS, ウェブサイト、アプリ等)	その他	回答数
全体	5 16.1%	10 32.3%	1 3.2%	1 3.2%	1 3.2%	1 3.2%	1 3.2%	1 3.2%	1 3.2%	8 25.8%	1 3.2%	31
10代	1 100%											1
20代	2 22.2%	4 44.4%							1 11.1%	2 22.2%		9
30代	1 14.3%	3 42.9%			1 14.3%					2 28.6%		7
40代	1 11.1%	1 11.1%		1 11.1%		1 11.1%		1 11.1%		3 33.3%	1 11.1%	9
50代		2 40.0%	1 20.0%				1 20.0%			1 20.0%		5

その他の回答

居酒屋

(7)独身者の結婚意欲

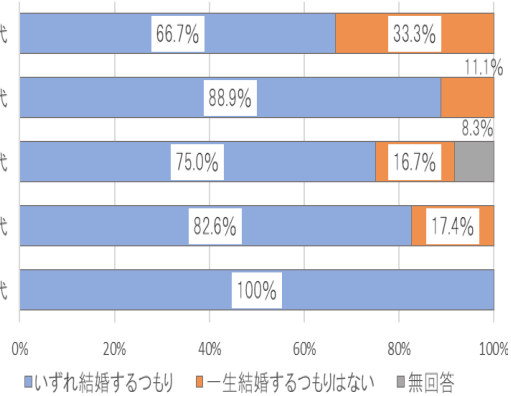
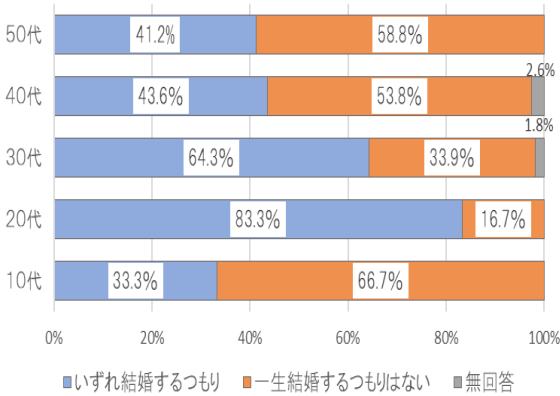
①結婚の意志

独身者の結婚意思について、女性は「いずれ結婚するつもり」と回答したのは20代が83.3%と最も割合が高く、30代64.3%、40代43.6%、50代41.2%と年代を追うごとに低くなっている。男性については、「いずれ結婚するつもり」と回答した割合が最も高いのは40代88.9%であるが、すべての年代において結婚の意志が高い。

結婚の意志

女性

男性



女性

	いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない	無回答	計
全体	121 64.7%	64 34.2%	2 1.1%	187
10代	1 33.3%	2 66.7%		3
20代	60 83.3%	12 16.7%		72
30代	36 64.3%	19 33.9%	1 1.8%	56
40代	17 43.6%	21 53.8%	1 2.6%	39
50代	7 41.2%	10 58.8%		17

男性

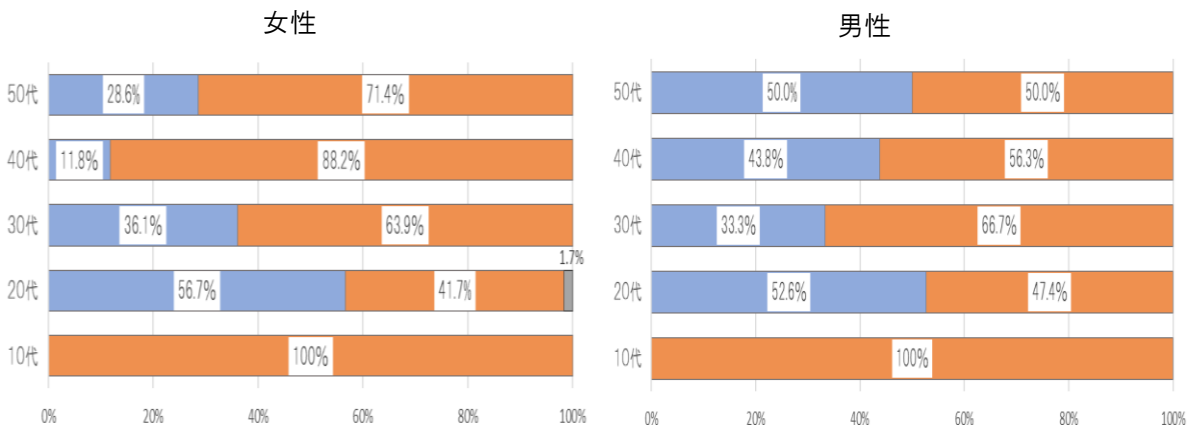
	いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない	無回答	計
全体	51 81.0%	11 17.4%	1 1.6%	63
10代	1 100%			1
20代	19 82.6%	4 17.4%		23
30代	9 75.0%	2 16.7%	1 8.3%	12
40代	16 88.9%	2 11.1%		18
50代	6 66.7%	3 33.3%		9

②結婚時期の決め手

「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚者が考える結婚の時期は、男女とも「ある程度の年齢までには結婚するつもり」が4割、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない」が6割であった。

女性は年代が高くなるにつれ、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない」と考える割合が高くなる傾向がある。

結婚時期の決め手



■ある程度の年齢までには結婚するつもり ■理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない ■無回答

■ある程度の年齢までには結婚するつもり ■理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない ■無回答

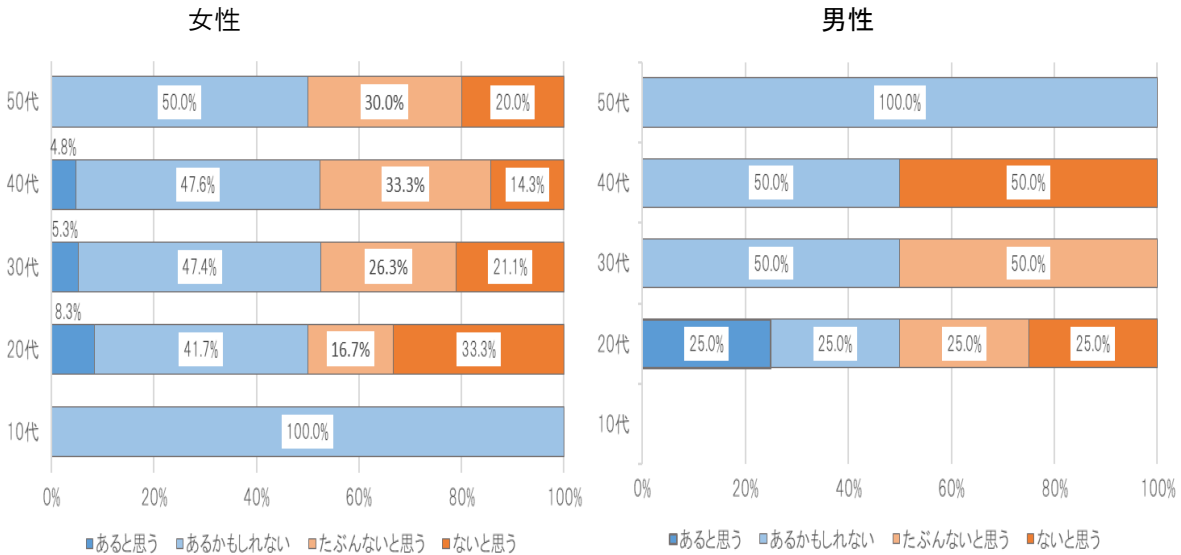
	ある程度の年齢までには結婚するつもり	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない	無回答	計
全体	51 42.2%	69 57.0%	1 0.8%	121
10代		1 100%		1
20代	34 56.7%	25 41.7%	1 1.7%	60
30代	13 36.1%	23 63.9%		36
40代	2 11.8%	15 88.2%		17
50代	2 28.6%	5 71.4%		7

	ある程度の年齢までには結婚するつもり	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない	無回答	計
全体	23 45.1%	28 54.9%		51
10代		1 100%		1
20代	10 52.6%	9 47.4%		19
30代	3 33.3%	6 66.7%		9
40代	7 43.8%	9 56.3%		16
50代	3 50.0%	3 50.0%		6

③「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性

「一生結婚するつもりはない」と回答した人が、「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性は、女性53.1%、男性63.6%であった。

「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性



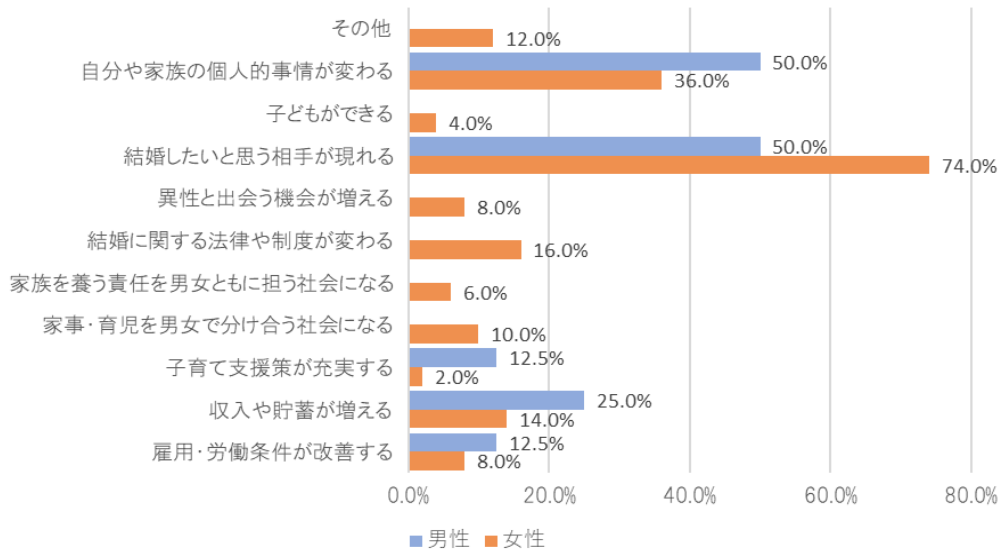
	あると思う	あるかもしれない	たぶんないと思う	ないと思う	計
全体	3 4.7%	31 48.4%	17 26.6%	13 20.3%	64
10代		2 100.0%			2
20代	1 8.3%	5 41.7%	2 16.7%	4 33.3%	12
30代	1 5.3%	9 47.4%	5 26.3%	4 21.1%	19
40代	1 4.8%	10 47.6%	7 33.3%	3 14.3%	21
50代		5 50.0%	3 30.0%	2 20.0%	10

	あると思う	あるかもしれない	たぶんないと思う	ないと思う	計
全体	1 9.1%	6 54.5%	2 18.2%	2 18.2%	11
10代					
20代	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	4
30代		1 50.0%	1 50.0%		2
40代		1 50.0%		1 50.0%	2
50代		3 100.0%			3

④「いずれ結婚するつもり」に変わるとする場合の理由

「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性の具体的な理由について、男女ともに「結婚したいと思う相手が現れる」と回答した割合が最も高い。次いで「自分や家族の個人的事情が変わる」の割合が高い。「家事・育児を男女で分け合う社会になる」「家族を養う責任を男女ともに担う社会になる」「結婚に関する法律や制度が変わる」「異性と出会う機会が増える」「子どもができる」の5項目を選択したのは女性のみであった。

「いずれ結婚するつもり」に変わるとする場合の具体的な理由（複数回答）



女性

	雇用・労働条件が改善する	収入や貯蓄が増える	子育て支援策が充実する	家事・育児を男女で分け合う社会になる	家族を養う責任を男女ともに担う社会になる	結婚に関する法律や制度が変わる	異性と出会う機会が増える	結婚したいと思う相手が現れる	子どもができる	自分や家族の個人的事情が変わる	その他	回答数
全体	4 8.0%	7 14.0%	1 2.0%	5 10.0%	3 6.0%	8 16.0%	4 8.0%	37 74.0%	3 6.0%	18 36.0%	6 12.0%	50
10代				1 50.0%		2 100.0%		2 100.0%		1 50.0%		2
20代	2 25.0%	2 25.0%		1 12.5%			1 12.5%	4 50.0%		3 37.5%		8
30代	1 6.7%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	2 13.3%	1 6.7%	13 86.7%	2 13.3%	5 33.3%	2 13.3%	15
40代		2 11.1%		1 5.6%	2 11.1%	3 16.7%	1 5.6%	12 66.7%		7 38.9%	3 16.7%	18
50代	1 14.3%	1 14.3%		1 14.3%		1 14.3%	1 14.3%	6 85.7%	1 14.3%	2 28.6%	1 14.3%	7

男性

	雇用・労働条件が改善する	収入や貯蓄が増える	子育て支援策が充実する	家事・育児を男女で分け合う社会になる	家族を養う責任を男女とも担う社会になる	結婚に関する法律や制度が変わる	異性との出会いが増える	結婚したいと思う相手が現れる	子どもができる	自分や家族の個人的事情が変わる	その他	回答数
全体	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%					4 50.0%		4 50.0%		8
10代												
20代			1 50.0%					1 50.0%		1 50.0%		2
30代	1 50.0%							1 50.0%				2
40代		1 100.0%								1 100.0%		1
50代		1 33.3%						2 66.7%		2 66.7%		3

その他の回答

- ・ 離婚歴があり、DVのトラウマを乗り越えられないから。
- ・ 差別が無くなったら

法律が変わって、結婚しなくても安心して子育てが出来ようになるなら。現在の戸籍は意味がなく形骸化しており、女性にとって不利な制度でしかない。結婚をしなくても子どもは出来るので、フランスのパスのような制度をつくればよいと思う。今の制度では法律上の結婚にあまり魅力がない。結婚したいから結婚するのではなく、子どもが欲しいから仕方なく「結婚」している。

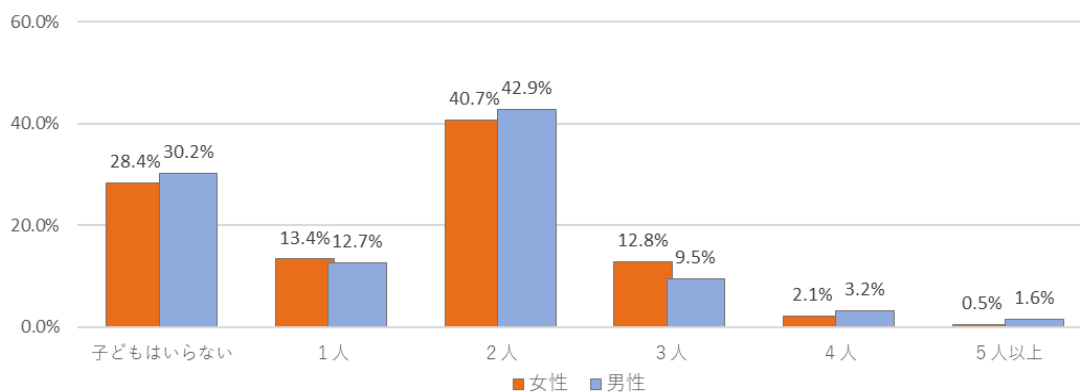
- ・ 日本から、結婚したら子供を持つのが当たり前！という考え方をする人達が居なくなったら。
- ・ パートナーの介護が必要になった場合
- ・ お互いの家に行き来や入らずに夫婦別姓や別居婚認められたら。

(8)希望の子ども数と子どもをもつ理由

①希望する子どもの数

未婚者の希望する子ども数は、男女ともに最も割合が高かったのは「2人」で約4割(女性40.7%、男性42.9%)である。次いで割合の高かったのは「子どもはいらない」で約3割あった。

希望する子どもの数



女性

	子どもはいらない	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	計
全体	53 28.4%	25 13.4%	76 40.7%	24 12.8%	4 2.1%	1 0.5%	4 2.1%	187
10代	2 66.7%		1 33.3%					3
20代	17 23.6%	10 13.9%	35 48.6%	6 8.3%	3 4.2%		1 1.4%	72
30代	16 28.6%	10 17.9%	20 35.7%	8 14.2%	1 1.8%		1 1.8%	56
40代	10 25.6%	5 12.8%	16 41.0%	6 15.4%		1 2.6%	1 2.6%	39
50代	8 47.1%		4 23.5%	4 23.5%			1 5.9%	17

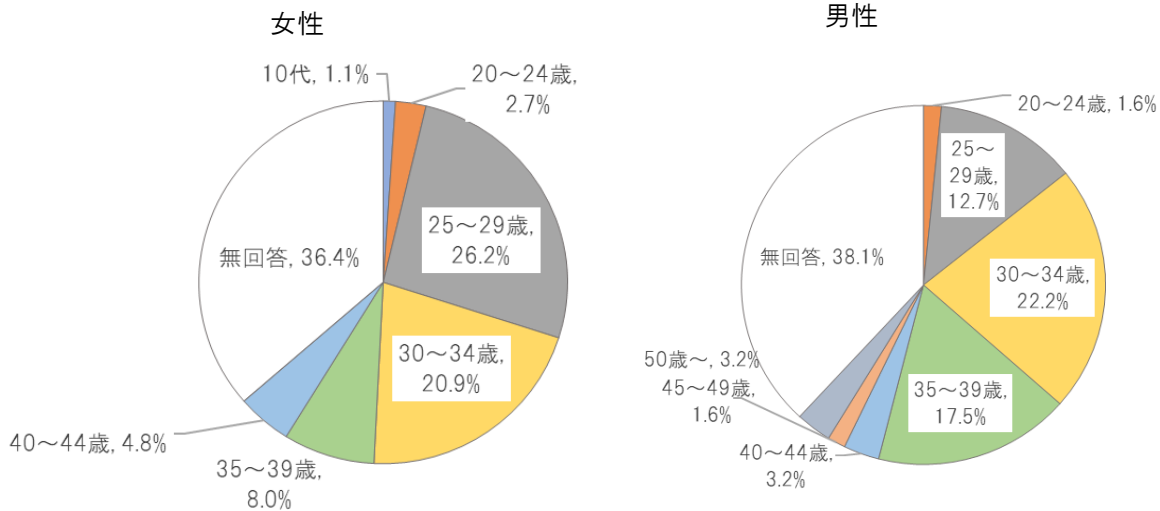
男性

	子どもはいらない	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	計
全体	19 30.2%	8 12.7%	27 42.9%	6 9.5%	2 3.2%	1 1.6%		63
10代				1 100%				1
20代	7 30.4%	4 17.4%	11 47.8%	1 4.3%				23
30代	3 25.0%		7 58.3%	1 8.3%	1 8.3%			12
40代	4 22.2%	3 16.7%	8 44.4%	2 11.1%	1 5.6%			18
50代	5 55.6%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%		1 11.1%		9

②最初の子どもがほしい年齢

未婚者の女性が最初の子どもがほしいと考える年齢は、「25～29歳」(26.2%)が最も高く、次いで「30～34歳」(20.9%)となっている。合わせて全体の約5割を占める。

男性については、「30～34歳」22.2%が最も高く、次いで「35～39歳」17.5%と女性と比較すると、若干年齢層が高い。



女性

	10代	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳～	無回答	計
全体	2 1.1%	5 2.7%	49 26.2%	39 20.9%	15 8.0%	9 4.8%			68 36.4%	187
10代				1 33%					2 66.7%	3
20代	1 1.4%		34 47.2%	16 22.2%	1 1.4%				20 27.8%	72
30代	1 1.8%	3 5.4%	4 7.1%	7 12.5%	13 23.2%	3 5.4%			25 44.6%	56
40代		1 2.6%	8 20.5%	12 30.8%	1 2.6%	6 15.4%			11 28.2%	39
50代		1 5.9%	3 17.6%	3 17.6%					10 58.8%	17

男性

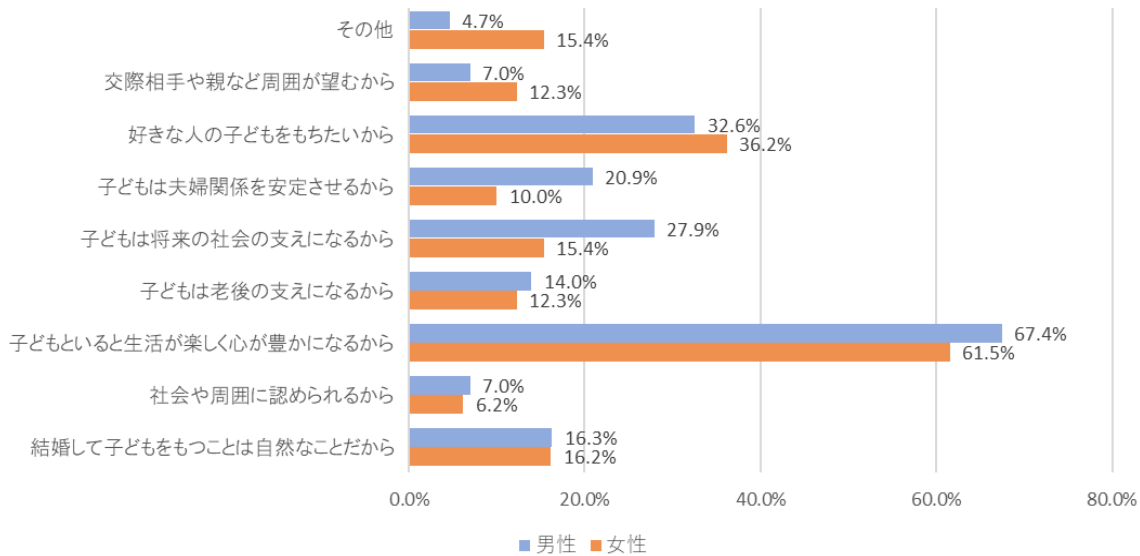
	10代	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳～	無回答	回答数
全体		1 1.6%	8 12.7%	14 22.2%	11 17.5%	2 3.2%	1 1.6%	2 3.2%	24 38.1%	63
10代				1 100%						1
20代		1 4.3%	4 17.4%	8 34.8%	2 8.7%				8 34.8%	23
30代			1 8.3%	1 8.3%	6 50.0%				4 33.3%	12
40代			1 5.6%	4 22.2%	3 16.7%	2 11.1%	1 5.6%	1 5.6%	6 33.3%	18
50代			2 22.2%					1 11.1%	6 66.7%	9

③1人以上の子どもをほしいと考える理由

未婚の男女が1人以上の子どもを欲しいと考える具体的な理由について、「子どもといると生活が楽しく心が豊かになるから」が男女ともに最多で6割となっている。(女性61.5%、男性67.4%)

男女で割合に差が大きいのは、「子どもは将来の社会の支えになるから」(女性15.4%、男性27.9%)、「子どもは夫婦関係を安定させるから」(女性10.0%、男性20.9%)であった。

1人以上の子どもを欲しいと考える理由(複数回答)



女性

	結婚して子どもをもつことは自然なことだから	社会や周囲に認められるから	子どもといると生活が楽しく心が豊かになるから	子どもは老後の支えになるから	子どもは将来の社会の支えになるから	子どもは夫婦関係を安定させるから	好きな人の子どもをもちたいから	交際相手や親など周囲が望むから	その他	回答数
全体	21 16.2%	8 6.2%	80 61.5%	16 12.3%	20 15.4%	13 10.0%	47 36.2%	16 12.3%	20 15.4%	130
10代			1 100%		1 100%					1
20代	11 20.0%	3 5.5%	35 63.6%	7 12.7%	7 12.7%	6 10.9%	26 47.3%	10 18.2%	7 12.7%	55
30代	5 13.2%	3 7.9%	21 55.3%	3 7.9%	6 15.8%	4 10.5%	12 31.6%	2 5.3%	8 21.1%	38
40代	3 10.7%	2 7.1%	17 60.7%	5 17.9%	3 10.7%	2 7.1%	6 21.4%	3 10.7%	5 17.9%	28
50代	2 25.0%		6 75.0%	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%		8

男性

	結婚して子どもをもつことは自然なことだから	社会や周囲に認められるから	子どもといると生活が楽しく心が豊かになるから	子どもは老後の支えになるから	子どもは将来の社会の支えになるから	子どもは夫婦関係を安定させるから	好きな人の子どものもちたいから	交際相手や親など周囲が望むから	その他	回答数
全体	7 16.3%	3 7.0%	29 67.4%	6 14.0%	12 27.9%	9 20.9%	14 32.6%	3 7.0%	2 4.7%	43
10代			1 100%	1 100%	1 100%					1
20代	2 12.5%	1 6.3%	10 62.5%	2 12.5%	2 12.5%	1 6.3%	6 37.5%	1 6.3%	1 6.3%	16
30代	1 12.5%		7 87.5%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	5 62.5%	1 12.5%		8
40代	2 14.3%	2 14.3%	9 64.3%	2 14.3%	5 35.7%	4 28.6%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	14
50代	2 50.0%		2 50.0%		3 75.0%	2 50.0%	2 50.0%			4

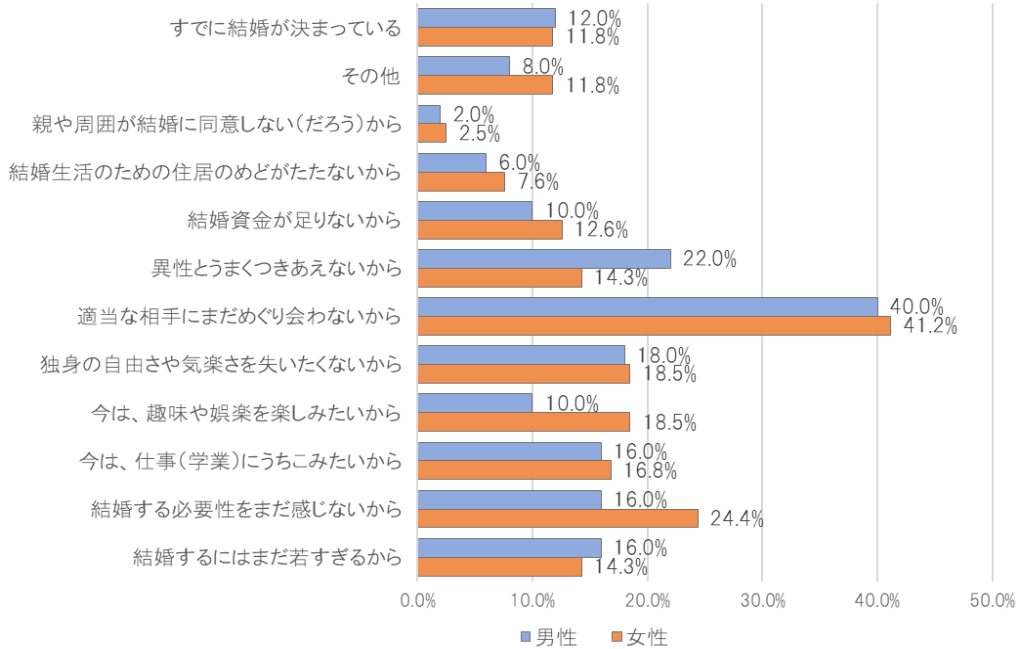
その他の回答

- ・ 死後の不安がなくなる
- ・ きょうだい関係が成長に良い影響があるから将来子供同士で支えあえるから
- ・ 自分が兄弟がいる環境で育ったことが、良かったと思っているから。
- ・ 子供が好きだから
- ・ 子どもがさみしい思いをしないように。
- ・ 子どもの存在が私を親にしてくれる可能性があるため。
- ・ いま2人育てているがあと1人くらい欲しかったと思う。
- ・ 子育てから親というものを勉強できる。こどもから親を教わることができる。親にしてくれる。
- ・ 興味があるから
- ・ 自身に兄弟がおり、兄弟がいてよかったと思うことの方が多いから。
- ・ 自分のこどもを育ててみたかったから。
- ・ 子供の成長のために兄弟がいる方が断然良いと思うから
- ・ 子供にとって兄弟がいたほうが、親が死んだときに兄弟で支え合って生きていけるから
- ・ 兄弟がおらず、いまの家族は全員先に他界する可能性が高いため、自分よりも長く生きてくれる家族がほしいから。孤独になりたくないから。
- ・ 子ども同士で遊んだり助け合えるから。
- ・ 子供がすきだから
- ・ 1人だと事故や病気等で亡くしたときに夫婦だけになってしまうから。
- ・ 子どもが好きだから。命を懸けてでも守り続け、一緒に成長していきたいから。
- ・ ひとりっ子はかわいそうだから
- ・ もう既に1人いる
- ・ 子ども同士で考えたり相談したりできるから

(9)独身でいる理由

現在独身でいる理由をみると、「適当な相手にまだめぐり会わないから」が男女ともに最も多く4割ある。女性では、次いで「結婚する必要性をまだ感じないから」24.4%、「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」18.5%となっている。男性では、「異性とうまくつきあえないから」が22.0%、「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」18.0%となっている。

独身でいる理由(複数回答)



女性

	結婚するにはまだ若すぎるから	結婚する必要性をまだ感じないから	今は、仕事(学業)にうちこみたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	適当な相手にまだめぐり会わないから	異性とうまくつきあえないから	結婚資金が足りないから	結婚生活のための住居のめどがたないから	親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	その他	すでに結婚が決まっている	回答数
全体	17 14.3%	29 24.4%	20 16.8%	22 18.5%	22 18.5%	49 41.2%	17 14.3%	15 12.6%	9 7.6%	3 2.5%	14 11.8%	14 11.8%	119
10代	1 100%		1 100%			1 100%							1
20代	15 25.9%	13 22.4%	14 24.1%	15 25.9%	13 22.4%	19 32.8%	6 10.3%	11 19.0%	5 8.6%	2 3.4%	4 6.9%	6 10.3%	58
30代		9 25.0%	3 8.3%	4 11.1%	3 8.3%	16 44.4%	7 19.4%	1 2.8%	3 8.3%		5 13.9%	5 13.9%	36
40代		4 23.5%	1 5.9%	2 11.8%	4 23.5%	10 58.8%	4 23.5%	2 11.8%	1 5.9%	1 5.9%	2 11.8%	1 5.9%	17
50代	1 14.3%	3 42.9%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	3 42.9%		1 14.3%			3 42.9%	1 14.3%	7

男性

	結婚するにはまだ若すぎるから	結婚する必要をまだ感じないから	今は、仕事(学業)にうちこみたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	適当な相手にまだめぐり会わないから	異性とうまくつきあえないから	結婚資金が足りないから	結婚生活のための住居のめどがないから	親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	その他	すでに結婚が決まっている	回答数
全体	8 16.0%	8 16.0%	8 16.0%	5 10.0%	9 18.0%	20 40.0%	11 22.0%	5 10.0%	3 6.0%	1 2.0%	4 8.0%	6 12.0%	50
10代	1 100%		1 100%			1 100%							1
20代	7 36.8%	3 15.8%	4 21.1%	4 21.1%	2 10.5%	8 42.1%	5 26.3%		2 10.5%		1 5.3%		19
30代		1 12.5%	1 12.5%		2 25.0%	5 62.5%	1 12.5%			1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	8
40代		2 12.5%	2 12.5%	1 6.3%	4 25.0%	4 25.0%	4 25.0%	3 18.8%			1 6.3%	3 18.8%	16
50代		2 33.3%			1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%			2 33.3%	6

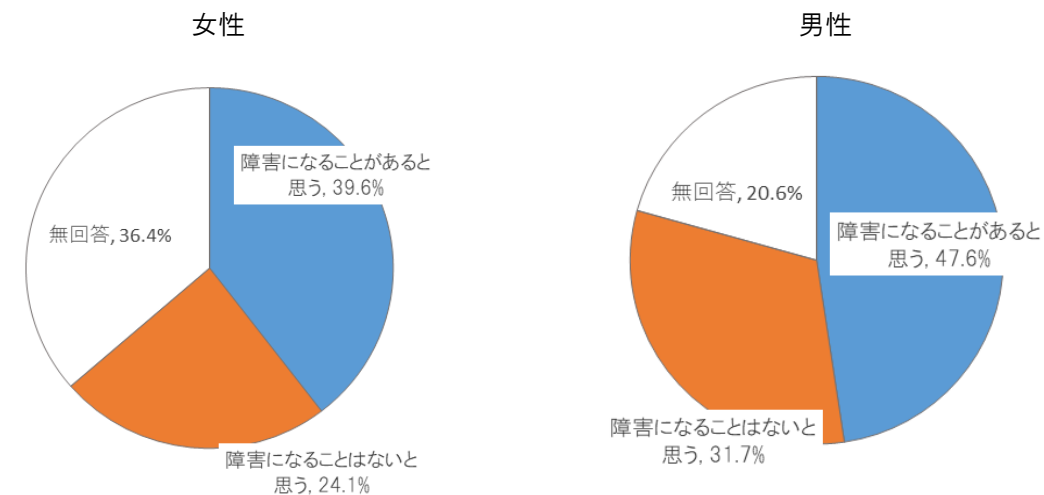
その他の回答

- ・ 相手と結婚に前向きな話し合いができていないから
- ・ 病気の治療に専念するため
- ・ 交際相手はいるが、交際したばかりでまだわからない。
- ・ 適齢期を随分過ぎているから
- ・ 1度離婚している
- ・ 結婚に向けた計画をたてている最中だから
- ・ 同居の両親の介護等
- ・ 結婚したいと思う相手の収入が暮らしていくには少し不安なため。

(10)結婚の障害

①障害の有無

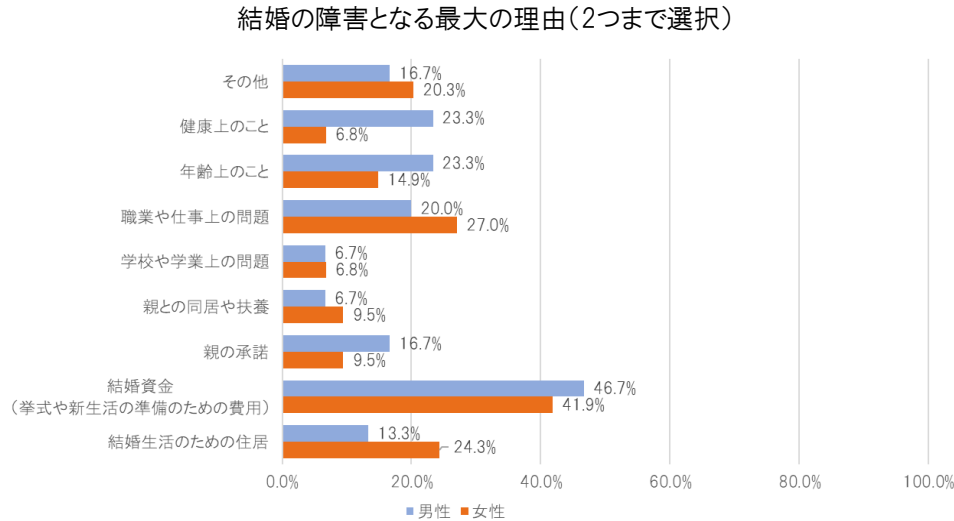
現在交際している人と(あるいは理想的な相手が見つかった場合)1年以内に結婚するとしたら障害があるかについて、男女ともに約4割が「障害になることがあると思う」と回答した。



	障害になることがあると思う	障害になることはないと思う	無回答	計
全体	104 41.6%	65 26.0%	81 32.4%	250
女性	74 39.6%	45 24.1%	68 36.4%	187
男性	30 47.6%	20 31.7%	13 20.6%	63

②結婚の障害となる最大の理由

結婚の障害があると回答した人の具体的な理由として、男女ともに割合が高いのは、「結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)」で女性が41.9%、男性が46.7%であった。女性は次いで多いのが、「職業や仕事上の問題」「結婚生活のための住居」であるが、男性は「年齢上のこと」「健康上のこと」が上位にある。また、「親の承諾」については女性よりも男性のほうが障害であると感じている割合が大きい。



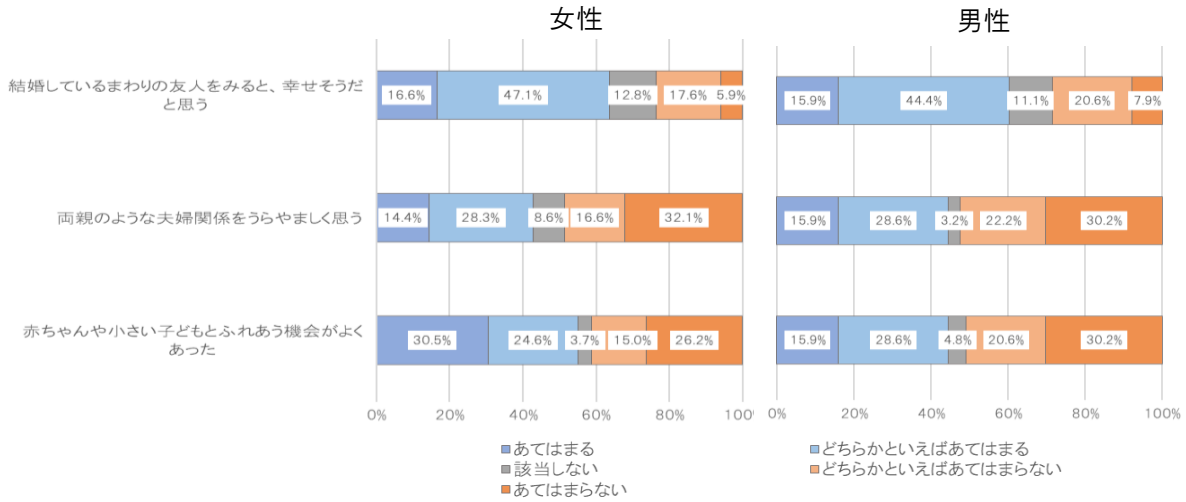
	結婚生活のための住居	結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)	親の承諾	親との同居や扶養	学校や学業上の問題	職業や仕事上の問題	年齢上のこと	健康上のこと	その他	回答数
全体	22 21.2%	45 43.3%	12 11.5%	9 8.7%	7 6.7%	26 25.0%	18 17.3%	12 11.5%	20 19.2%	104
女性	18 24.3%	31 41.9%	7 9.5%	7 9.5%	5 6.8%	20 27.0%	11 14.9%	5 6.8%	15 20.3%	74
男性	4 13.3%	14 46.7%	5 16.7%	2 6.7%	2 6.7%	6 20.0%	7 23.3%	7 23.3%	5 16.7%	30

その他の回答

- ・ それぞれ住んでいる場所が遠いので、何処に住むかどうか
- ・ 仕事以外のキャリア
- ・ 自分が相手の地元(遠方)へ引っ越さねばならないこと
- ・ 性格的な相性
- ・ シングルマザーなので、実子との関係の構築
- ・ 夫婦同性以外の選択がないこと。自分の仕事上でのキャリアを思うと、自身の名前を使用し続けたい。一方で、それを相手に強いることも不公平に感じるため、別姓制度を望む。
- ・ まず1年一緒にいてみないと、いざ結婚したときに価値観の違いや生活習慣の違い等に影響が出る恐れがあると思うから。
- ・ 親の病気と、親からの過干渉。
- ・ 自身がシングルマザーなので、結婚すると彼が他府県の方なので子どもを転校させる必要があり、その時期と子どものケアが問題。学年の途中は避けたい。仲良しのお友達と離ればなれになる。仲良しのじいばーばと離ればなれになる
- ・ 親が存命であること(親の介護)
- ・ 自らの食物アレルギーに対する理解。
- ・ 自分が高校卒業学歴に養護学校に記載あり、軽い知的障がい者であって収入が悪いが理解してもらえる人を希望する

(11)子どもとのふれあい経験・周囲の結婚への評価

独身者の子どもとのふれあいについて、「赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった」と回答した人は女性が55.1%、男性が44.5%と約5割であった。
 両親の夫婦関係や結婚している周囲の友人の結婚に対しては、男女ともに半数程度が肯定的に捉えている回答であった。



女性

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	該当しない	計
赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった	57 30.5%	46 24.6%	28 15.0%	49 26.2%	7 3.7%	187
両親のような夫婦関係をうらやましく思う	27 14.4%	53 28.3%	31 16.6%	60 32.1%	16 8.6%	187
結婚しているまわりの友人をみると、幸せそうだと思う	31 16.6%	88 47.1%	33 17.6%	11 5.9%	24 12.8%	187

男性

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	該当しない	計
赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった	10 15.9%	18 28.6%	13 20.6%	19 30.2%	3 4.8%	63
両親のような夫婦関係をうらやましく思う	10 15.9%	18 28.6%	14 22.2%	19 30.2%	2 3.2%	63
結婚しているまわりの友人をみると、幸せそうだと思う	10 15.9%	28 44.4%	13 20.6%	5 7.9%	7 11.1%	63

2023年奈良市結婚と出産に関する意識調査報告書

令和5年11月

編集・発行 奈良市子ども未来部子ども政策課